

京都産業大学図書館年報

1997 (第16号)

京都産業大学図書館

京都産業大学図書館年報 1997 (第16号)

目 次

まえがき(図書館長 坂井 東洋男)	1
図書館組織	3
図書館委員会	
1. 平成8年度図書館委員会委員	4
2. 平成8年度図書館委員会報告	5
3. 平成8年度図書館資料費予算	11
4. 平成8年度図書館資料費決算報告	12
図書館資料選択委員会	
1. 平成8年度図書館資料選択委員会委員	13
2. 平成8年度図書館資料選択委員会報告	14
業務報告	
1. 図書管理課	17
2. 図書運用課	21
3. 情報サービス課	23
業務日誌	
1. 館内行事	27
2. 館外研修	38
3. 館内研修	41
4. 見学者	42
基礎資料・統計	
1. サービス対象者・図書館職員	43
2. 施設・設備	44
3. 蔵書・整理統計	47
4. 利用統計	53
5. 図書館利用の推移	62
京都産業大学図書館利用規程	65
図書館職員名簿	72

ま え が き

図書館長 坂井 東洋男

『図書館年報』第16号をお届けするにあたって、この1年間、教職員の皆様から賜ったご支援ご協力に、衷心よりお礼を申し上げます。

昨年度の年報で申し上げたことの繰り返しになりますが、館内では、毎月末の全体会議や研修報告をはじめ、館員間相互で不断に自己点検、資質向上につとめております。とはいえ、自己点検が自己満足におちいってもなりません。その意味で、旧年度の業務報告や各種統計をふくむこの『年報』は、自己評価ならぬ、館外から厳しく評価（批判）していただくための客観デ－タの集積であるといえましょう。これを前年度のデ－タと比較すれば、どの点が伸び、逆に、伸び悩んだかなど、あらわに示されてくるものがあるはずです。図書館の業務、活動をどのように評価するかは、館外の皆様の御高評にゆだねるほかはありません。『年報』をご覧にいれ、叱咤激励をお願いするゆえんです。

今号の『年報』末尾には、一部改定された図書館利用規程を付しました。京都産業大学カ－ドの発行にともない、カ－ド所持者で、あらかじめ所定の手続きをとられた希望者には、卒業生並みの条件で図書館を利用していただけることになったからです。昨年度の図書館委員会ですでにご承認いただいておりますが、正式には平成9年5月1日から適用されるものです。

図書館の市民への条件つき開放という意義をもちましょう。さりとて、これが無条件の開放につながるかということ、現実的には慎重に調査し、解決すべき課題がいくつもあって、容易ではありません。

開放とからめていえば、館内では目下、情報サ－ビス課が中心になって、懸案の次期システムを軌道に乗せるべく、鋭意努力しております。実現のあかつきには、図書館のシステムが独立分離されることで、目録情報などを学外にも公開することが可能となります。今年度中には、学内関係部局の支援を得て、ほぼ実現の運びとなりそうです。

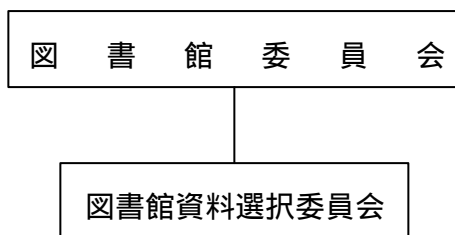
今年度、平成9年度は、京産大図書館にとって、激務の1年となります。図書館委員会では、昨年度ご報告いたしましたが、本館は、私立大学図書館協会の会長校（平成9年度と10年度）を、また、あわせて日本図書館協会大学図書館部会長校

（平成９年度）を兼務することになりました。前者は私立大学約３７０校が加盟しております。慶應義塾大学の後を承けて大役を拝命することになったものです。後者の部会は国公立大学のほとんどが加盟している組織であります。この部会の主催行事として、秋（１１月１３日と１４日の両日）には、本学神山ホールなどで大学図書館研究集会を開催いたします。研究集会は隔年開催であります。本館が部会長校をつとめる本年がその当たり年、かつ会場校の栄にも浴しました。光栄といえこれ以上の光栄はありませんが、これほどの大役をいくつも重任した先例は協会や部会の長い歴史でもみあたりません。肝腎の学内業務に支障を来さぬよう、次長以下、館を挙げて細心の注意を払い、全力を傾注しておりますが、心ならずも、ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。ご支援をお願いするとともに、あらかじめご容赦をお願い上げるしだいです。

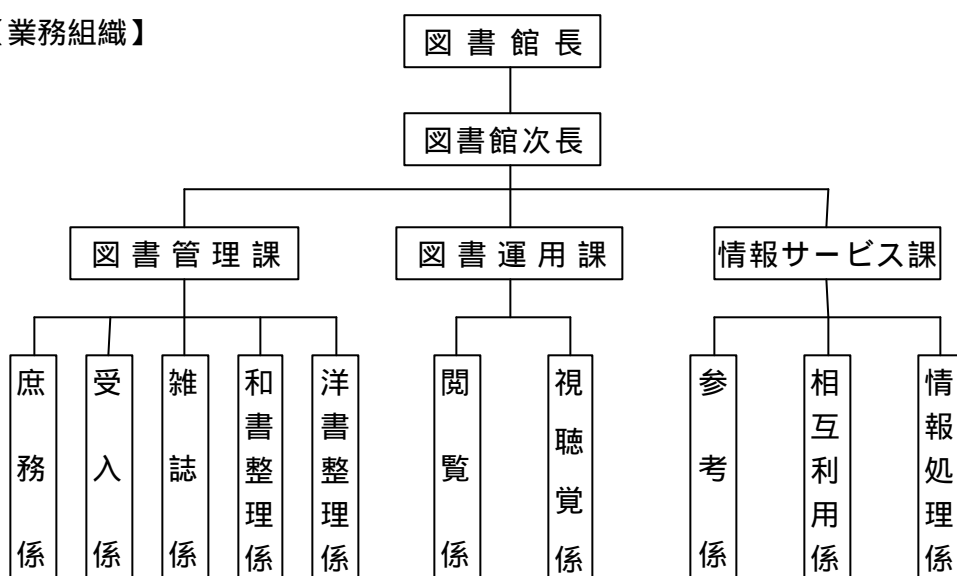
今後とも倍旧のお力添えを賜りますようお願い上げます。

図 書 館 組 織

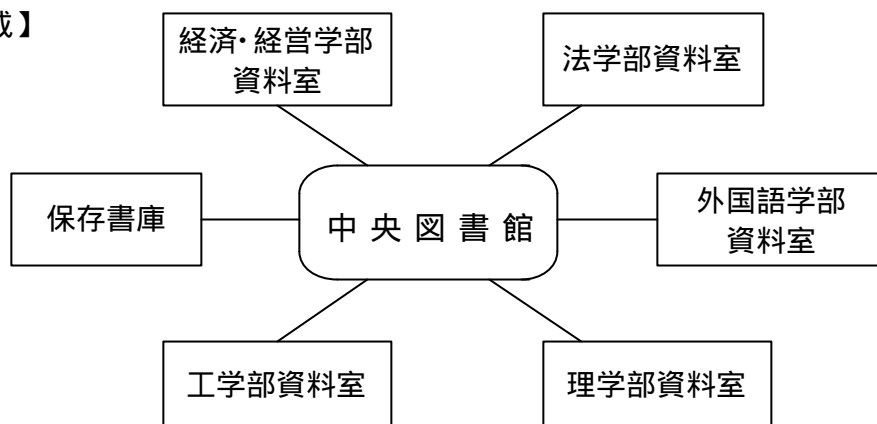
【審議組織】



【業務組織】



【構成】



図書館委員会

1. 平成8年度図書館委員会委員

(1) 図書館委員

所 属	職名	氏 名
図 書 館	館 長	坂井 東洋男
経 済 学 部	教 授	藤田 宏二
経 営 学 部	教 授	市田 浩三
法 学 部	教 授	川合 全弘
外 国 語 学 部	教 授	生田 眞人
理 学 部	教 授	坂本 吉之
工 学 部	助 教 授	伊藤 浩之
一般教育研究センター	教 授	潟岡 孝昭
英語教育研究センター	助 教 授	津田 幸雄
外国語教育研究センター	講 師	杉村 涼子
体育教育研究センター	教 授	今里 正克
計 算 機 科 学 研 究 所	助 教 授	筒井 稔
世 界 問 題 研 究 所	教 授	間宮 茂樹
国際言語科学研究所	教 授	池田 哲郎
国土利用開発研究所	助 教 授	並松 信久
現 代 体 育 研 究 所	教 授	足利 善男
日 本 文 化 研 究 所	教 授	村上 一三
図 書 館	次 長	村橋 元雄

(2) 幹事

所 属	職名	氏 名
図 書 管 理 課	課 長	小寺 源吾
図 書 運 用 課	課 長	大山 襄
情 報 サ ー ビ ス 課	課 長	横山 桂

2．平成8年度図書館委員会報告

第1回 日 時 平成8年4月24日(水)午後1時10分～2時15分

場 所 図書館ホール

出席者 図書館長ほか図書館委員17名、幹事3名

議 事

1．辞令交付

最初に、図書館長が再任の挨拶をおこない、本学図書館の審議機関である図書館委員会及び図書館資料選択委員会の任務及び構成を説明した。

次いで、平成8年4月1日付けで、新たに図書館委員会委員に委嘱された経済学部藤田宏二教授ほか10名の図書館委員にたいして、学長代理として図書館長から辞令を交付。新図書館委員の任期は、2年である。

2．平成7年度図書館資料費決算報告について

平成7年度図書館資料費決算報告をおこない、承認を受けた。製本費をのぞいた図書館資料費の予算額は、300,790,598円であったが、私立大学研究設備整備計画(私大助成)に採択された2点の補助金が加算されたため、316,270,598円となった。一方、その使用額は310,251,625円であり、執行率は98.1%であった。

3．平成8年度図書館資料費予算(案)について

平成8年度図書館資料費予算(案)の概要を説明し、原案どおり承認された。製本費をのぞいた資料費の総額を昨年度予算と比較すると、学部学生数及び大学院生数の増加にともない、約96万円の増額となった。

4．平成8年度私立大学研究設備整備計画(私大助成)について

今年度は、理学部及び一般教育研究センターから応募のあった次の2点を申請することになった。

- ・NATO Advanced Science Institute Series. 450 Vols.

- ・東北大学附属図書館所蔵狩野文庫マイクロ版集成

第4門：語学・文学 521 リール

5．その他

(1) パソコン室について

現在、中央図書館読書室にパソコン24台、プリンター2台を設置し、パソコン・コーナーとしているが、この度パソコン24台の増設が承認された。これにともない、読書室がパソコン専用スペースとなるため、その名称を「パソコン室」に改称することになった。

(2) 整理済資料の取置きについて

研究用資料の図書購入申込書に「整理後の資料取置きを希望する」と記載されたものについては、整理後2週間メインカウンターに取置きをしているが、取置期限内に貸出手続を受けない教員が半数をこえている。この取置サービスは、相当煩雑な作業が必要となっているため、期限内に貸出を受けるよう教授会での周知徹底を依頼した。

(3) 平成8年度年間計画について

本年度の図書館委員会及び図書館資料選択委員会の開催予定日時及び議題を報告した。

(4) 図書館資料費配分調査票について

先に承認された本年度図書館資料費予算にもとづき、各所属のセクション別・個人別の資料費配分調査票を平成8年5月22日(水)までに図書管理課受入係に提出するよう依頼した。また、図書購入申込みについては、図書購入申込書の提出期限日及び現物納品の期限日を厳守するよう依頼した。

(5) その他

昨年度末に改訂した図書館利用案内ビデオ『探しものは何ですか』を上映した。

第2回 日 時 平成8年5月22日(水)午後1時15分～2時5分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか図書館委員17名、幹事3名

議 事

1. 平成9年度研究用新規購読雑誌等の申請について

次年度の研究用雑誌等の新規購読又は購読中止の申請手続を説明。各所属において、現在購読中の雑誌等の見直しをおこない、次年度から新規購読又は購読を中止するものがあれば、所定の申請書を平成8年9月20日(金)までに図書管理課雑誌係に提出するよう依頼した。

2. コンテンツ・シート・サービスについて

昭和62年10月の中央図書館開館以来、学術雑誌を中央図書館に引き上げた経済・経営学部、法学部及び外国語学部図書館資料室並びに第1研究室等にたいして、コンテンツ・シート・サービスを実施してきた。しかし、オンラインやCD-ROMによるデータベース、電子ジャーナル、インターネット上の情報資源などの充実にともない、今後はこれらによる情報提供に努めるものとして、平成8年度前期をもってこれを終了することを提案。各所属においてこれについて協

議し、次回の委員会で審議することになった。

3．大学院生用図書費の使用について

この図書費の有効利用を図るため、院生の購入希望図書については、図書購入申込書に指導教授の承認印を不要とする図書購入申込手続の簡略化を提案。これについては、大学院生用図書は、担当教授の指導にもとづいて購入することが望ましいとの意見を付記し、大学院委員会に提案することが承認された。

なお、院生の学外機関からの文献複写物の入手に必要な文献複写費をこの図書費から支払うことができるよう調整中であることを報告した。

4．その他

(1) 雑誌の製本予定について

今年度の雑誌の製本予定について報告し、理解と協力を要請した。

(2) その他

専任教員の貸出冊数、中央図書館2階の新聞雑誌コーナーの和雑誌及びオンライン情報検索料についての質問があった。

第3回 日 時 平成8年6月26日（水）12時35分～12時50分
 場 所 図書館会議室
 出席者 図書館長ほか図書館委員15名、幹事3名

議 事

1．全学図書を選択について

最初に、今年度の全学図書費の配分案を提案し、承認を受けた。次に、基本図書及び貴重図書の申請手続を報告した。

2．図書館資料費の使用状況について

平成8年6月21日現在の図書館資料費の使用状況を報告した。

3．その他

(1) 大学院生用図書費の使用について

前回の委員会において提案した、院生の購入希望図書の申込手続の簡略化と学外機関からの文献複写物の入手に必要な文献複写費の大学院生用図書費からの支払いの2点が、6月12日に開催された大学院委員会において報告され、双方とも了承されたので、平成8年7月1日から実施することになった。

なお、大学院生用図書費の使用についての文書を大学院研究科長及び院生に配付する予定であることを報告した。

(2) コンテンツ・シート・サービスについて

今回は、本委員会の開催時間を繰上げ・短縮したことにともない、次回の委

員会において審議することになった。

第4回 日 時 平成8年10月2日(水)午後1時15分～2時

場 所 図書館ホール

出席者 図書館長ほか図書館委員15名、幹事3名

議 事

1. 全学図書(基本図書)の購入について

今年度は、基本図書として25点の申請があった。しかし、現時点においては、今年度の私立大学教育研究設備整備計画(私大助成)の採択状況が不明のため、基本図書費の予算額を確定することができないので、次回の委員会において貴重図書と一括してその購入について審議することになった。

2. 図書館資料費の使用状況について

平成8年9月30日現在の図書館資料費の使用状況を報告した。

3. その他

(1) 平成9年度私立大学研究設備整備計画(私大助成)の申請について

次年度は、経済学部及び英語教育研究センターからの申請になるため、両所屬にたいして申請資料の選択に取りかかるよう依頼した。

(2) パソコン室について

平成8年7月、読書室にパソコン24台を増設。これによって、読書室がパソコン専用スペースとなり、読書室をパソコン室に改称したことを報告するとともに、パソコン室の概要を説明した。

また、図書館ホールには、10月中にパソコン及びプロジェクターを設置し、インターネットに接続した画面を映写することが可能となる予定であることを報告した。

(3) コンテンツ・シート・サービスについて

今年度第2回委員会において、このサービスの中止を提案したが、今回これについて審議。その結果、平成8年10月をもってコンテンツ・シート・サービスを廃止することに決定。ただし、特別な理由がある場合は、個別に情報サービス課相互利用係と相談することになった。

(4) 平成9年度研究用新規購読雑誌等の申請について

各所屬から申請された次年度の新規購読・購読中止雑誌等のリストを報告。購読中止雑誌を別の所屬で新たに購読する場合は、平成8年10月19日までに図書管理課雑誌係に申請するよう依頼した。

第5回 日時 平成8年11月27日（水）午後1時10分～2時10分
 場所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか図書館委員17名、幹事3名

議 事

1. 全学図書（基本図書・貴重図書）の購入について

今年度は、私立大学研究設備整備計画（私大助成）に申請した資料が2点とも不採択となったので、全学図書の予算配分を基本図書費 1,400 万円、貴重図書費 300 万円とすることに決定。基本図書として、私大助成に申請したものの第1位資料の 300 万円相当分の優先的購入と各所属から申請された資料のうち 18 点、1,100 万円の合計 19 点、1,400 万円、貴重図書として 1 点 299 万円を購入することになった。また、貴重図書に不採択となった 2 点（242 万円）については、資料的価値が極めて高いとの理由により、調整費によって購入することになった。

2. 図書館資料費の使用状況について

平成8年11月25日現在の図書館資料費の使用状況を報告した。

3. その他

(1) 平成9年度研究用新規購読雑誌等について

前回の委員会において報告した次年度の新規購読・購読中止雑誌等のリストに若干の訂正があったので、改めてこれを報告した。

(2) 平成9年度新入生ライブラリー・ガイダンスについて

昨年度第6回委員会において、新入生ガイダンスを英語教育研究センター・外国語学部英米語学科と外国語教育研究センター・外国語学部非英米語学科の隔年ローテーションによって実施することを決定した。今年度は英語教育研究センター等の協力によって実施したので、次年度は外国語教育研究センター等の協力によって実施することを確認し、本年度のガイダンス実施状況を報告した。

第6回 日時 平成9年1月29日（水）午後1時10分～1時45分
 場所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか図書館委員17名、幹事3名

議 事

1. 次年度図書館資料費予算編成について

平成8年10月31日現在の学生数、専任教員数及び兼務所員数にもとづき、消費税を5%として試算した次年度資料費予算案を提示。次年度予算額は、今年度のそれと大差はない。

なお、今年度の調整費の残額によって、基本図書として申請された経営学部第2位の資料の30万円相当分を追加購入することを提案し、承認された。

2．図書館資料費の使用状況について

平成9年1月27日現在の図書館資料費の使用状況を報告し、現物納品の期限日厳守を要請した。

3．その他

(1) 平成8年度ライブラリー・ガイダンス実施状況について

配付資料にもとづいて、今年度のガイダンス実施状況を報告。次年度からは、志学会の要望により新入生全員にガイダンスを実施する予定であることから、教員各位の一層の理解と協力を要請した。

(2) 京都産業大学カード保持者の図書館利用について

平成9年4月から京都産業大学カードが発行されるが、このカード保持者には本学の卒業生とほぼ同程度の図書館利用を認めることを検討しているとの報告をおこない、承認をうけた。これにともない、次年度になってから、京都産業大学図書館利用規程の一部を改正することになった。

(3) 次年度年間計画について

配付資料にもとづいて、次年度の図書館委員会及び図書館資料選択委員会の開催予定日時及び議題を説明。また、次年度から本学図書館が私立大学図書館協会会長校（平成9～10年度）と日本図書館協会大学図書館部会部会長校（平成9年度）に就任、平成9年11月13日（木）～14日（金）には神山ホールにおいて「第16回大学図書館研究集会」を開催する予定であることを報告した。

(4) 図書館委員会委員の任期満了について

図書館長から、平成9年3月31日をもって工学部伊藤浩之助教授ほか5名の委員が任期満了となることを報告し、在任中の図書館運営にたいする尽力にたいして感謝の意を表明した。

3. 平成8年度図書館資料費予算

(円)

費 目		予 算	実質配当額	
資料費	教育用	学生用	62,465,000	61,648,468
		大学院生用	4,830,000	4,830,000
		指定図書	2,500,000	2,500,000
		資格試験資料	1,500,000	1,500,000
		教育用資料費	71,295,000	70,478,468
	研究用	経済学部	15,587,363	15,587,363
		経営学部	14,768,103	14,768,103
		法学部	16,435,401	16,435,401
		外国語学部	27,469,813	27,469,813
		理学部	40,573,000	40,573,000
		工学部	18,805,700	18,805,700
		一般教育研究センター	7,053,339	7,053,339
		英語教育研究センター	6,968,266	6,968,266
		外国語教育研究センター	8,574,635	8,574,635
		体育教育研究センター	4,120,460	4,120,460
		計算機科学研究所	2,655,900	2,655,900
		世界問題研究所	2,778,036	2,778,036
		国際言語科学研究所	2,986,581	2,986,581
		国土利用開発研究所	2,675,356	2,675,356
		現代体育研究所	3,584,081	3,584,081
		日本文化研究所	2,933,417	2,933,417
		語学ラボラトリーセンター	3,313,790	3,313,790
		保健管理センター	700,000	700,000
		教職課程講座センター	2,400,000	2,400,000
		同和教育資料室	1,273,080	1,273,080
		図書館	2,159,782	2,159,782
		研究用資料費	187,816,103	187,816,103
	特別購入	全学図書	17,000,000	17,000,000
		参考図書	8,768,196	8,768,196
		視聴覚資料	6,243,600	6,243,600
		マイクロ資料	3,000,000	3,000,000
		特別購入資料費	35,011,796	35,011,796
調整費		7,624,299	8,440,831	
資料費		301,747,198	301,747,198	
製本費		8,363,600	8,357,935	
図書館資料費		310,110,798	310,105,133	

4 . 平成 8 年度図書館資料費決算報告

(円)

費 目		配 当 額	使 用 額	残 額
教 育 用	学生用	61,648,468	61,601,044	47,424
	大学院生用	4,830,000	1,712,458	3,117,542
	指定図書	2,500,000	2,444,269	55,731
	資格試験資料	1,500,000	492,040	1,007,960
教育用資料費		70,478,468	66,249,811	4,228,657
資 料 用	経済学部	15,587,363	15,581,800	5,563
	経営学部	14,768,103	14,768,103	0
	法学部	16,435,401	16,434,954	447
	外国語学部	27,469,813	27,437,891	31,922
	理学部	40,573,000	40,540,691	32,309
	工学部	18,805,700	18,602,699	203,001
	一般教育研究センター	7,053,339	7,050,867	2,472
	英語教育研究センター	6,968,266	6,967,510	756
	外国語教育研究センター	8,574,635	8,268,288	306,347
	体育教育研究センター	4,120,460	4,073,526	46,934
	計算機科学研究所	2,655,900	1,643,153	1,012,747
	世界問題研究所	2,778,036	2,658,601	119,435
	国際言語科学研究所	2,986,581	2,986,581	0
	国土利用開発研究所	2,675,356	2,657,763	17,593
	現代体育研究所	3,584,081	3,370,394	213,687
	日本文化研究所	2,933,417	2,933,417	0
	語学ラボラトリーセンター	3,313,790	3,287,139	26,651
	保健管理センター	700,000	689,652	10,348
	教職課程講座センター	2,400,000	2,399,887	113
	同和教育資料室	1,273,080	1,273,080	0
	図書館	2,159,782	2,169,962	-10,180
	研究用資料費	187,816,103	185,795,958	2,020,145
特 別 購 入	全学図書	17,000,000	16,819,933	180,067
	参考図書	8,768,196	8,768,196	0
	視聴覚資料	6,243,600	5,949,482	294,118
	マイクロ資料	3,000,000	2,992,428	7,572
	特別購入資料費	35,011,796	34,530,039	481,757
	調整費	8,440,831	7,624,020	816,811
資料費		301,747,198	294,199,828	7,547,370
製本費		8,357,935	8,350,416	7,519
図書館資料費		310,105,133	302,550,244	7,554,889

図書館資料選択委員会

1. 平成8年度図書館資料選択委員会委員

所 属	職 名	氏 名
図 書 館	館 長	坂井 東洋男
経 済 学 部	教 授	藤田 宏二
経 営 学 部	教 授	市田 浩三
法 学 部	教 授	川合 全弘
外 国 語 学 部	教 授	生田 真人
理 学 部	教 授	坂本 吉之
工 学 部	助 教 授	伊藤 浩之
一般教育研究センター	教 授	潟岡 孝昭
英語教育研究センター	助 教 授	津田 幸雄
外国語教育研究センター	講 師	杉村 涼子
体育教育研究センター	教 授	今里 正克
図 書 館	次 長	村橋 元雄
図 書 管 理 課	課 長	小寺 源吾
〃	課長補佐	木村 公平
〃	課長補佐	赤瀬 美穂
図 書 運 用 課	課 長	大山 襄
〃	課長補佐	石田 浩
情 報 サ ー ビ ス 課	課 長	横山 桂
〃	課長補佐	宝田 育久

2．平成8年度図書館資料選択委員会報告

第1回 日 時 平成8年5月22日(水) 午後2時10分～2時25分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか委員17名

議 事

1．個人文庫の指定について

平成8年3月に故小川環樹京都大学名誉教授のご遺族の厚意により、蔵書8,000冊を譲りうけたものを、個人文庫に指定してよいかとの提案が図書館よりあった。

委員からはとくに異論もなく、名称を「小川環樹文庫」とし、小川環樹文庫整理委員会を設置し、目録を作成することとなった。

2．視聴覚資料の収集について

平成8年5月18日現在での、視聴覚資料費の使用状況が報告された。教育用21%、学生用34%、教材用25%、全体で22%がすでに執行済である。

3．その他

今年度第1回の委員会に当たるため、図書館側の課長補佐が紹介された。

第2回 日 時 平成8年6月26日(水) 午後12時50分～1時10分
 場 所 図書館会議室
 出席者 図書館長ほか委員15名

議 事

1．図書館資料のマイクロ化計画について

図書館で購読している新聞16点を保存のために、マイクロ版またはCD-ROM版で継続購入するものである。今年度は1995年版を対象としている。図書館の購入計画案として、CD-ROM版で刊行されているものを優先させ、CD-ROM版の刊行のないものはマイクロ版を購入する。CD-ROM版のものは、次年度以降も継続購入するというものである。

今年度は、CD-ROM版7点、マイクロ版9点 合計 1,872,222円となる。

図書館の提案のとおり、購入計画案は了承された。

2．視聴覚資料費の使用状況について

平成8年6月21日現在での、視聴覚資料費の使用状況が報告された。全体では24.7%の執行率で、最高の執行率は、学生用の37.5%である。館長からは購入に相応しいソフトがあれば、推薦願いたいとの発言があった。

第3回 日 時 平成8年10月2日(水) 午後2時00分～2時20分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか委員16名

議 事

議事に入る前に、10月1日付けの人事異動により、図書管理課近藤課長補佐、図書運用課岩谷課長補佐の異動に伴う、後任の木村、石田課長補佐が紹介された。

1．視聴覚資料の収集について

平成8年9月21日現在での視聴覚資料費の使用状況が報告された。教育用71.5%、研究用25.0%、教材用50.9%、学生用52.4%、全体で52.1%の執行率である。昨年同期と比較すると、昨年は81.4%の執行率で、すでに教育用では予算を超過する状態であった。それからすると今年度の執行率は順調である。

館長からは購入に相応しいソフトがあれば、推薦願いたいとの発言があった。

2．その他

図書館から「マイクロ資料費によるCD-ROMの購入について」が提案された。法学部の学生の利用頻度が高い『法律判例文献情報CD-ROM』のLAN対応(同時アクセス10台)で館外からのアクセスも可能である。購入金額は309,000円(消費税込み)。次年度以降の年間更新料の170,000円は参考図書費から支出する。

これに対し各委員からは異論はなく、了承された。

第4回 日 時 平成8年11月27日(水) 午後2時10分～2時25分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか委員18名

議 事

1．視聴覚資料の収集について

平成8年11月18日現在での視聴覚資料費の使用状況が報告された。全体で59.8%の執行率で、各費目では、教育用が72.9%、研究用が42.8%、教材用が51.6%、学生用が68.6%となり、残額が2,508,382円となる。

図書館から視聴覚資料について、購入に相応しいソフトがあれば、ご推薦願いたいとの要望が出された。期間は図書購入申込提出期限と同じ(平成9年1月31日)で、ただし予算終了にて打ち切りとなる。

2．その他

図書館から「マイクロ資料費によるCD-ROMの購入について」が提案された。

(1) Academic Abstracts ￥551,410(年 12 回) 消費税込み

学術雑誌 155 誌の論文・記事の全文、約 880 誌の抄録。

(2) Humanities Source ￥272,692(年 12 回) 消費税込み

人文科学系 76 誌の論文・記事の全文、約 500 誌の抄録。

(1) + (2) = ￥824,102 消費税込み

上記 2 点の購入計画が説明され、各委員からは異論なく、了承された。

業務報告

1. 図書管理課

平成8年4月1日付けで図書館の事務組織の再編成がおこなわれ、これまで図書管理課に置かれていた情報処理係が、昨年度新設された情報サービス課に移ることになった。図書館資料の電子化とネットワークの拡充に伴い、インターネットを活用した図書館サービスの飛躍的な発展を図るためである。

(1) 庶務業務

今年度から、本学経理部及び管財部が計算機センターのバックアップによって開発した「財務情報システム」が稼働し、各課分掌業務に係る支出申請、物品調達及び補修・修理要求については、パソコンへのデータ入力、申請書等出力、所属長決裁、主管所属へのデータ転送、決裁済申請書及び証憑の主管所属への引継ぎという流れに変更されることになった。これによって、マニュアルによる支出申請書等の作成作業がパソコンへのデータ入力に改善された。しかしながら、図書館情報処理システムのサブシステムの一つである「発注・受入及び資産管理システム」とこの「財務情報システム」との接点はなく、受入係及び雑誌係の入力した受入データを「財務情報システム」に再入力しなければならない。現在、平成10年度稼働を目標に図書館次期システムの構築が進められているが、次期システムにおいては、必ずやこの課題が解決されるものと願わずにはいられない。

(2) 受入業務

大学院生用資料費

平成8年7月から、大学院生用資料費の一層の活用を図るため、院生の購入希望図書の申込手続の簡略化と院生用資料費の一部を文献複写物の入手に充当できるようにした。これは、この資料費の使用についての院生からの要望を実現したものである。

その結果、今年度のこの資料費での文献複写物入手は、112件 90,466円（1件平均807.7円）となった。今年度は、7月からの年度途中での実施であったが、次年度はさらに増加するものと予測される。これによって、大学院生の研究活動がさらに活性化されるものと期待したい。

小川環樹文庫の登録

平成8年3月、元京都大学名誉教授で、本学外国語学部教授でもあった故小川環樹氏のご遺族のご厚意により、その蔵書を譲り受けることができた。この蔵書は、主として中国文学・語学関係の学術的資料で、膨大な漢籍コレクションのなかには貴重な資料が数多く蒐集されており、本学図書館の蔵書のなかでも際立った輝きと

重みをみせている。これにともない、平成 8 年度第 1 回図書館資料選択委員会（平成 8 年 5 月 22 日開催）において、これを個人文庫に指定することを提案し、「小川環樹文庫」と命名することになった。

今年度上半期にはこれらの仕分作業と登録作業をおこない、下半期には線装本の仕分作業と和書の整理作業に取り組んだ。最初の仕分作業では、約 300 個の段ボール箱に箱詰めされた資料を、洋装本、線装本、雑誌、文献複写物、雑誌論文の抜刷、学会関係資料、パンフレット、書簡、その他などに分別することにした。次に、洋装本を日本語図書、中国語図書及び洋書に仕分し、これらの図書に従来の蔵書印と新たに作成した蔵書印（「小川環樹文庫」と陽刻）を押捺、バーコードラベルを貼付した。その結果、この第 1 次作業によって登録した図書は、日本語図書 4,341 冊、中国語図書 3,398 冊、洋書 398 冊の合計 8,137 冊となった。また、線装本については、約半分は帙に入っているものの、残りはバラバラの状態であったため、その仕分作業をおこない、帙作成の準備に着手した。しかしながら、帙入線装本の点検、線装本の帙作成と補修、蔵書印押捺やバーコードラベル貼付作業などは、次年度に持ち越しとなった。

(3) 雑誌業務

今年度までは、外国為替レートの円高傾向や外国雑誌購読料の見積競争などによる外国雑誌取扱業者の再選定などによって、何とかこれまでの外国雑誌を維持することができた。しかし、次年度(1997 年)分については、外貨建購読料の値上がりに外国為替レート的大幅な円安傾向が加わり、その購読料が前年度比約 20% 増となることが確実となった。特に、雑誌購読料が所属配当資料費の約 90% に達している理・工学部においては、雑誌購読料のみで配当額を超過する見込みとなった。そこで、工学部から、その購読料が割安であると評判の某外資系外国雑誌取扱業者との見積競争をおこない、これまでの外国雑誌を維持してほしいとの要望がだされたため、これを実施することになった。その結果、国内の 3 主要業者からは、当該外資系業者とほぼ同水準の購読料の提示を受けることができた。

これは、雑誌情報の収集と提供についての根本的な見直しが今や緊急の課題となりつつあることを意味している。すなわち、図書館資料費の据置き、不安定な外国為替レート、とどまるところのない雑誌購読料の値上がり、雑誌特有の出版・流通システム、インターネットに代表されるネットワークの拡充、オンライン・データベースや CD-ROM などの電子メディアの充実、ドキュメント・デリバリー業者のサービス拡大、電子図書館構想の具体化などにみられるように、明らかに雑誌情報の収集と提供をめぐる環境が一大転換期にさしかかっているからである。

これに関連して、外国雑誌取扱業者の再選定について検討することにした。まず

最初に、某外資系外国雑誌取扱業者にプレゼンテーションを依頼し、次に関西地区でこの業者から外国雑誌を購読している2大手私立大学図書館における実情を調査することになった。この調査によって、外国雑誌取扱業者変更の理由、変更後の状況（点検・評価）、今後の課題などについて、外国雑誌の安定的収集、購読料の設定やその支払いなどの具体的な処理方法について極めて重要な示唆を受けることができた。

(4) 整理業務

和書・洋書整理係における今年度の特筆すべき事業は、学術情報センター目録システム接続用ソフト及びパソコンの更新であった。

学術情報センター目録システム接続用ソフトの更新

本学図書館が学術情報センターに加盟して以来、同センターの提供する三つのサービス、目録所在情報システム、相互利用システム及び情報検索システムの利用にあたっては、専用ソフト「Lumina」を使用してきた。しかしながら、平成8年4月、最新のパソコン基本ソフト「Windows95」に対応した専用ソフト「Fusion」が開発されたため、早速これを導入することにし、平成8年4月～9月の6か月にわたって、「Fusion」への移行のための試験的運用をおこなった。この間、操作上の問題点をチェックし、ソフト製作者にたいして数多くの改良を要望した。その結果、重要な問題点がほぼ解決されたため、平成8年10月から本格的な運用を開始した。

「Fusion」は、ウィンドウズ対応版であるため、学術情報センター総合目録への登録作業中に、同一画面上で国・内外の他大学の蔵書目録を検索・参照できることや書誌データ作成時の画面上の操作が容易なことから、整理業務をさらに効率的に処理することができるようになった。

また、本学図書館と学術情報センターとの接続がインターネット経由となったため、従来の京都大学までの電話専用回線使用料が不要となった。

学術情報センター接続用パソコンの更新

先に述べた「Fusion」は、ウィンドウズ対応版であり、これまで使用してきたパソコン（IBM PS/55Z）には搭載することができないこと、これらのパソコンも平成元年～2年に購入したもので、平成8年7月たまたま故障した2台のパソコンにたいして、メーカーから修理不可能との回答があったことなどの理由により、学術情報センター接続用パソコン7台及びプリンター1台を一挙に更新した。

和書整理業務における成果

和書整理係においては、今年度は次の3点について重点的に取り組んだ。

ア．学術雑誌目次速報データベースへのデータ提供

前年度は、学術情報センターの「学術雑誌目次速報データベース」にたいして、

3冊分20件のデータについてデータ送信方法のテストをおこなった。その結果、データ作成方法をワープロ形式（タグ形式）からDBソフト形式（記号区切り方式）へ、ファイル送付方法をNACSIS-MAILから電子メールに変更することによって、これを確実・迅速に処理できることが判明。その結果、平成8年度末での送付済データ件数は、今年度刊行分15誌148件、遡及入力分4誌448件の合計596件となった。次年度も、引き続きこの作業に取り組み、なるべく早く全データの登録を済ませたいものである。

なお、遡及入力分については、本学創立30周年を記念して刊行された『京都産業大学学術誌論文名一覧1965-1995』のフロッピー・データを活用させていただいた。

イ．中国語入力ソフトの導入

これまでは、中国語図書の目録カードは手書きによって作成していたが、中国語入力ソフトを購入し、中国語図書整理業務の機械化（システム化）を軌道に乗せることができた。

その流れは、パソコンに書誌データ・請求記号などを入力、校正用リスト出力、目録カード出力、図書原簿用ワークシート作成、図書ラベル出力というもので、これによって中国語図書の整理期間を多少とも短縮することができた。しかしながら、本ソフトを使用しても入・出力のできない文字があることから、さらに優れたソフトへの更新を検討する必要がある。

なお、これについては、学術情報センターの中国語図書データベースが利用可能となるまでの過渡的措置と位置付けているが、今後ともそのデータベース化検討ワーキンググループの審議内容について注視してゆきたい。

ウ．小川環樹文庫和書の整理に着手

先述のように、平成8年度上半期において、小川環樹文庫の洋装本の仕分作業と登録作業を終えることができたので、平成8年11月から和書の整理に着手した。これらの本格的整理は、次年度以降の重点的課題となる。

2. 図書運用課

(1) 資料の移動

今年度は、大量の資料移動はなかったが、第3次学生用基本図書選択作業部会で購入手続きがとられた資料の増加に伴い、2・3階の開架閲覧室の書架で満杯になるところができた。その都度地下書庫への移動を余儀なくさせられた。とくに、現在も処理できないでいるのが大型図書コーナーで書架からあふれているものの整備である。地下の電動書架では、大型図書を横に寝かせても入らないものが多い。行き場がなくなっているのが現状である。対策を検討しなければならない。

次年度には、地下2階の洋書の書架が部分的に満杯となっており、それを調整する必要がある。

(2) 学生証不携帯者の入館について

学生証を忘れた学生には、図書館の入館を認めてこなかった。以前は受付カウンターにノートを用意し、学生証を持たない入館者には、学生証番号をメインカウンターへ照会し、本人であることを確認後、ノートに書かせて、入館させていた。ところがその手続きが一つの入館方法となって1日でノートに数ページにわたるほどになってしまい、電話の問い合わせ等繁雑になり、学生証不携帯者は入館させないことにした。

しかし、館内から「厳しすぎるのでは」、利用者の学生からも「入館させて欲しい」との声が多く、今年度再検討をした結果、次のような対応となった。「入館願」を書かせる。前期、後期各1回とする。学生証を必要とするサービスは受けられない。館内で行われる授業への出席は制限回数に含めない。これを今年度後期から試験的に実施した。その後の検討でも、とくに問題の指摘もなかったので、次年度から学生証不携帯者にはこの方法で対応することとなった。

(3) 傘立ての入れ替えについて

鍵付き傘立てとコイン式傘立てを併用してきた。とくに今年度は学生のマナーが悪く、傘立ての確保のためと思われる鍵の持ち帰り、また置き傘と思われる傘の置きっぱなしで、傘立てとしての機能を果たさなくなってしまった。コイン式傘立てについては比較的順調に使用されていた。利用者からの不満の声もあり、管財課に相談したところ、鍵付き傘立ては鍵を補充しても繰り返しになるとのことで、鍵なしの傘立てと館内に持ち込ませるためのビニール袋を用意して、様子を見ることとなった。

(4) 「京都産業大学カード」保持者の図書館利用

次年度より「京都産業大学カード」を発行することになり、その契約者に対して付加価値として大学施設の利用が検討され、その一つとして中央図書館を利用しても

らうこととなった。利用希望者には利用カードを発行し、サービスの範囲は卒業生と同程度とすることとなった。次年度にはそれに沿った「利用規程」の改正をすることとなった。

(5) 電子メールのアドレス保持

平成9年1月に計算機センターより図書運用課の電子メール希望者にアドレスが発行された。今後は大学全体で電子メールを使った連絡・業務が増加していくことだろう。図書運用課の連絡・業務も電子メールで済ませるものは、そちらに切り替えていくこととなる。

(6) 日本十進分類法の改訂

日本十進分類法は1978年に新訂8版となり、1995年にさらに新訂9版となった。本学図書館としては8版の改訂を見送り、現在9版の改訂にも未着手の状態となっている。

新訂8版での大きな改訂項目であった007の情報科学へのコンピュータ関連のソフトウェアの細分類、548の情報工学へのハードウェア関連の分類に対して、本学では418.6をソフトウェア、549.92がハードウェアとなっており、細分類されていないため、テーマごとに探すことができない状態になっている。この是正のためにも分類の改訂の時期に来ているようにおもわれる。

(7) その他

受付カウンターに事務室との連絡用ブザーを設置した。

L A N回線敷設工事により、液晶プロジェクターで図書館ホールのスクリーンにパソコンの画面を表示させることが可能となった。この事により、インターネットの利用のようすもスクリーン上で見るできるようになった。

3. 情報サービス課

平成8年4月から情報サービス課が2年目を迎えるにあたり、図書管理課に属していた情報処理係が情報サービス課に所属替えとなった。電子図書館的機能の充実を期待されている大学図書館には、情報サービス関連部門の強化が不可欠との認識から、この措置がとられたものである。これによって情報サービス課は、情報処理係、参考係、相互利用係の3係体制で業務・サービスを遂行することになった。

職員にも若干の異動があった。課長補佐が交代したほか、課長補佐が兼任していた参考係長に専任の係長が就任し、相互利用係では嘱託職員のうちの1名が専任職員に代わった。課の体制は専任7名、嘱託1名の合計8名で、参考カウンターの勤務にかんしては、図書運用課長のローテーション入りと大学院生の補助は従来どおりであったが、新たに情報処理係がこれに加わるようになった。

(1) 図書館次期システムの開発準備

情報処理係の所属替えにともない、図書館システムの構築・運用・メンテナンスは平成8年度から情報サービス課の主管となった。ただし、すでに平成7年7月に館内の横断的組織として「図書館次期システム開発委員会」が発足し、平成8年3月に「基本仕様書」を作成しており、今後ともこの委員会を中心に次期システムの準備と開発が進められる予定である。

委員会がまとめた次期システムの基本構想を要約すれば、次のようになる。

図書館専用機によるクライアント・サーバー型オープン・システムとし、基本的には本学ホスト機に依存しない。

将来性のある効率のよい開発環境を確保する。すなわち、原則として本学図書館でシステムの変更が可能なものとする。

現行システムの性能を上回るものにする。たとえば、オープン化、日本語処理、処理スピードなど。

書誌管理は従来どおり学術情報センターの目録所在情報システムに準拠し、目録をWWWで公開する。

ハードウェア、ソフトウェアともに適正な費用でシステムを構築する。

開発作業はパッケージ・システムの購入およびそのカスタマイズを基本とするが、図書館も可能な範囲で一部を分担する。

平成10(1998)年4月の稼働を目標とする。

なお、稼働開始時点のシステム予測規模は、登録資料数80万件、書誌レコード数60万件、年間の貸出・返却件数40万件、サーバー機3台、クライアント機50台である。

このような基本構想および開発・移行スケジュールにしたがい、図書館次期シス

テム開発委員会は、平成 8 年 4 月から 7 月にかけて、パッケージ・システムの選定を行った。具体的な提案のあった会社は 8 社で、このうちの 3 社が 7 月に館内で既存システムのデモンストレーションを行ったが、3 社とも本学の現行仕様をはるかに下回る機能のシステムであった。結局、図書館が考えている Windows-NT Server というプラットフォームによってあるていど満足のいくシステムを作る可能性があり、価格面でも他社に見劣りのしない富士通の提案を採用することになった。

開発作業自体は平成 9 年度の予定であったが、予算を計上する関係で、7 月以降、学内関係部署への説明と了解のとりつけを行い、10 月には富士通との打合わせを開始し、年内に見積書と開発・移行スケジュール表を入手した。富士通との打合わせは、テレビ会議などを含めて 1 月までつづいた。

(2) 資料と情報の収集

情報サービス課は参考図書の収集に責任をもっているが、昨年度にひきつづき CD-ROM の充実に努めた。その結果、ソフトが昨年度の倍近くの 56 種類に達した。特徴としては、内外の新聞の CD-ROM が増えたこと、LAN 環境で使えるようにライセンス契約したものが増えたこと、フルテキストを含む雑誌記事・論文索引の CD-ROM を購入したこと、などを挙げることができる。

情報検索用データベースには増減がなかったが、利用時間は大幅に増加した。また、組織的な情報収集ではなかったものの、インターネットの WWW 上にある有益な情報をレファレンスに活用する例が徐々に見られるようになってきた。

(3) 利用の概況

レファレンス業務は年を経るごとに多忙になってきた。新入生・ゼミ生のクラス単位のガイダンスが呼び水となって、多くの教員が CD-ROM やオンラインの情報検索の利用を学生に課し、あるいは学生みずからレファレンスのカウンターを気軽に訪れるようになってきたからであろう。レファレンスのサービス体制として、平日 8 時 45 分から 4 時 30 分まで 2 階と 3 階に担当者各 1 名を配置し、平日の午後および土曜の午前に大学院生のアルバイトを補助としてつけているが、試験期でなくても 3 階のカウンターがパニック状態におちいることがしばしばであった。このため、担当者から、3 階のレファレンス・カウンターには複数の専任職員を常駐させる必要があるとの声が出はじめた。

図書館間相互協力では、受付が横ばいであったのに対し、依頼（とくに海外への依頼）が増加した。数年前に本学図書館がよびかけて一部の大学図書館とのあいだで実現した文献複写料金の一括支払・差額支払方式は、件数の多い相手校が一定しないため、しだいに相手校が減り、平成 8 年度はついに自然消滅のかたちとなった。また、これと同様の趣旨で発足した「文献複写料金相殺のための

「NACSIS-ILL ユーザー会」には平成 7 年 10 月から参加したが、依頼分について私費と公費を区別しなければならない点など、問題がないわけではない。

昨年度と同じく、オンライン目録と CD-ROM 検索用のパソコンの利用が多かったが、年度のはじめに各 2 台のパソコンを増設したため、待ち時間は短縮された。読書室（平成 8 年 7 月から「パソコン室」と改称）のパソコンは、春の長期休暇中などでもほとんど利用者が減らなかった。

職員向けの記事速報サービスでは、見出しの一覧表を用紙で配付することをやめ、パソコンを使った学内事務システムでのみ見られるようにしたため、利用が急減した。次年度には何らかの PR が必要である。

中央図書館の開館いらい約 10 年にわたってつづけてきたコンテンツ・シート・サービスを 11 月に廃止した。最近では CD-ROM やインターネット経由でのオンライン情報検索が主流になっており、電子ジャーナルの刊行も珍しくない状況にあるため、図書館委員会にはかつて了解を得たものである。

(4) ライブラリー・ガイダンス

例年どおり、大学のすべての成員に対してガイダンスを実施した。実施回数は 167 回、参加者数は 3,765 人で、いずれも昨年度を少し下回った。新入生は全体の 70% が参加したが、この数値は平成 6 年度からほとんど変化していない。

ガイダンス実施直後に行なうアンケートによれば、ガイダンスが「役に立つと思う」と答えた割合は、新入生で 90.1%、ゼミ生で 82.1% で、ほぼ例年どおりであった。

学生自治会（志学会）から「新入生全員に図書館ガイダンスを実施する体制をつくってほしい」との要望が出されていたため、今年度、図書館委員会で検討した結果、平成 9 年度以降、英語クラスと英語以外の外国語クラス（組織的には英語教育研究センター、外国語教育研究センター、外国語学部が関係）が 1 年おきのローテーションで、クラス別のガイダンスに協力することになった。

この決定にともない、たとえば担当者の確保やオンライン目録実習用のパソコンの増設など、図書館サイドの準備も検討・相談し、当局の了解をえるべく努力した。

(5) 資料の作成と広報

インターネット・ホームページ委員会

平成 8 年 11 月に、3 課から合計 4 名の委員を出すかたちでインターネット・ホームページ委員会が発足した。その狙いは本学構成員にとって有益な情報とのリンクを張るとともに、一歩進んで本学独自の情報をも作成・発信することである。この委員会の活動により、とりあえずはリンクづけが進んだ。

ガイダンス用資料の改訂

ゼミ生の図書館ガイダンスの際に配付する「文献・情報の探し方」の改訂版を作成した。これまでは1年おきに改訂してきたが、情報源の変化が著しいため、今後は毎年改訂することにした。

広報資料用の原稿作成

大学の広報課や入試課が中心となって作成する広報資料の図書館関係分の原稿作成と校正は、従来、所管課を決めずに処理してきたが、今年度から情報サービス課が責任をもつことになった。また、図書館報 Lib. および図書館年報の編集責任者も情報サービス課から出すことになった。

(6) 機器の増設等

パソコン室のパソコン増設

パソコン室に FMV-5133DPS と Power Macintosh 7200/120 を各 12 台設置した。これにより、既設のウィンドウズおよびマックとあわせて合計 48 台のパソコンを利用者が自由に使えるようになった。

パソコン室の空調工事

パソコンの増設にともなってパソコン室の利用が増え、夏期でなくても部屋の高温が問題となってきたため、年度末に冷房専用のエアコンを設置した。稼働は次年度からとなる。

検索用パソコンの増設

中央図書館 3 階の目録コーナーに目録検索用パソコンを 2 台、情報検索コーナーに CD-ROM 検索用パソコンを 2 台増設した。これによって、目録検索の待ち時間がいくぶん短くなり、情報検索コーナーの混雑が緩和された。

ビデオ・プロジェクターの新設

図書館ホールで開催する学会でインターネットの画面を映写する必要が生じ、パソコンとビデオ・プロジェクターを購入・設置した。ビデオ・プロジェクターの機種はエプソン ELP-5000 である。

(7) その他

図書館職員がさらに効率的に e-mail を使えるように、大学の事務機械化推進委員会をつうじて要望し、1 月に希望者 20 名がアカウントを取得した。すでに取得していた者とこれより少し遅れて申請した者とを加えると、ほとんどのすべての図書館職員が e-mail を使えるようになった。

業務日誌

1. 館内行事

平成 8 年 4 月 1 日 事務組織変更

情報処理係が図書管理課から情報サービス課へ移る。

人事異動

昇任 水谷アキノ(図書管理課)→語学ラボラトリーセンター庶務係長

配置換 山口謙二(図書管理課長補佐)→すみれ幼稚園事務長
近藤賢二(生涯学習教育センター調査役)→図書管理課長補佐

宝田育久(図書管理課長補佐、情報処理係長事務取扱)→情報サービス課長補佐、情報処理係長事務取扱

赤瀬美穂(情報サービス課長補佐、参考係長事務取扱)→図書管理課長補佐、洋書整理係長事務取扱

澤熊智美(図書管理課雑誌係長)→情報サービス課参考係長

長田伸寛(洋書整理係長)→雑誌係長

天笠洋一(図書管理課)→情報サービス課

豊川美恵子(図書管理課)→学生課

桑名美幸(広報課)→図書管理課

下井美樹(図書運用課)→経済学部事務室

宮垣なぎ(図書運用課)→情報サービス課

小倉都子(会計課)→図書運用課

嘱託職員契約更新(～平成 9 年 3 月 31 日)

中島由美子(情報サービス課)

臨時職員採用(～平成 9 年 3 月 31 日)

図書管理課 1 名(洋書整理業務補助)

臨時職員契約更新(～平成 9 年 3 月 31 日)

図書管理課 3 名(受入業務及び和書整理業務補助)

図書運用課 2 名(閲覧業務補助)

派遣職員契約更新(～平成 9 年 3 月 31 日)

図書運用課 1 名(受付業務)

休館

『Lib. 京都産業大学図書館報』V.23, No.1発行

体育寮入寮式(寮務室、図書館ホール)

全体会議、図書運用課・情報サービス課会議

ライブラリー・ガイダンス担当者会議

私立大学図書館協会「自己点検・評価手法ガイドライン作成委員会」

委員に委嘱 小寺源吾(任期：～平成9年3月31日)

2日 定時開館(～5日、8:45～16:30)

図書運用課学生アルバイトの業務説明会

図書管理課会議

3日 新入生オリエンテーション(～5日)

定例会議(以後毎週水曜日)図書館長、次長及び課長

6日 前期授業開始

定時外開館(～7月24日、平日8:30～20:00、土曜日8:30～16:30)

学生アルバイト(大学院生)採用(～平成9年3月31日)

図書運用課2名(閲覧業務、視聴覚業務、定時外開館業務等補助)

情報サービス課1名(参考業務補助)

学生アルバイト(学部学生)採用

図書管理課1名(雑誌業務補助、～平成9年3月31日)

図書運用課1名(閲覧業務補助、～平成9年2月18日)

図書運用課3名(定時外開館業務補助、～平成9年2月18日)

8日 ライブラリー・ガイダンス開始

図書館新入職員研修会

平成8年度教育懇談会打合せ会(教務課)岩谷訓男

11日 春期休暇貸出図書返却期限日

12日 新任教員ライブラリー・ガイダンス

事務用パソコン利用説明会(総務課)小寺源吾

15日 故紙回収(以後毎月15日)

MBA来館：学術情報センター接続用ソフトFusionをパソコン1台にインストール、テスト稼働開始

17日 部・次長懇話会(総務課、以後毎月第2木曜日)村橋元雄

19日 自己啓発研修助成制度説明会(総務課)桑名美幸ほか2名

22日 自費出版図書購入のため著者を訪問(京都市)西村純一

- 24日 平成8年度第1回図書館委員会
大学見学会(～平成8年12月11日、野洲高校ほか26校、入試課、図書館ホール)
同和委員会(以後第4水曜日)村橋元雄
- 25日 大学基準協会維持会員への加入・登録に関する打合せ(企画課)村橋元雄、小寺源吾
- 26日 EBSCO CD-ROMデモンストレーション(ナウカ株式会社、会議室)
- 27日 空調設備の冷房への切替作業
- 30日 月末作業日(休館)
全体会議、課会議
学生用資料選書委員会(以後随時開催)
読書室閲覧用机・椅子移動作業(2～3階へ移動)
事務機械化推進委員会(企画課)小寺源吾
- 5月10日 国土利用開発研究所研究会(図書館ホール)
- 14日 館内空気環境測定
- 15日 第1回小川環樹文庫整理委員会
- 17日 冷暖房機器点検・清掃
- 20日 「ちょいす君」(丸善受発注システム)専用パソコン設置
- 22日 平成8年度第2回図書館委員会
平成8年度第1回図書館資料選択委員会
- 23日 NACSIS-CATオンライン負荷テスト
- 29日 学生相談セミナー(学生相談室、図書館ホール)
- 30日 所属別業務一覧及び個人別業務分担表を総務課へ提出
- 31日 月末作業日(休館)
全体会議、課会議
図書館職員研修会
計算機利用申請書(個人用)提出 富崎千賀子
- 6月1日 館内にて映画撮影(映画研究部)
福利厚生施設の現地見学(総務課、滋賀県)桑名美幸
- 2日 日曜開館(9:30～17:00、入館者146名)
- 5日 学生相談セミナー(学生相談室、図書館ホール)
故小川環樹氏寄贈資料受取り 坂井東洋男ほか2名
- 9日 日曜開館(9:30～17:00、入館者148名)
- 11日 日本図書館協会平成8年度図書館調査に回答

- 16日 教育懇談会(教務課、図書館見学者350名)
日曜開館(9:30~17:00、入館者211名)
- 17日 小川環樹文庫蔵書印作成
平成8年度事務機械化研修 基本コース(総務課、17、19、21日の
3日)岩谷訓男ほか3名
- 23日 教育懇談会(教務課、図書館見学者331名)
日曜開館(9:30~17:00、入館者199名)
- 24日 2~3階コピー・コーナーに複写機2台を増設(~7月25日)
平成8年度事務機械化研修 基本コース(総務課、24、26、28日の
3日)赤瀬美穂ほか3名
- 26日 平成8年度第3回図書館委員会
平成8年度第2回図書館資料選択委員会
同和教育研修会(同和委員会、図書館ホール)
- 27日 NACSIS-CATオンライン負荷テスト
- 28日 所属長会
- 30日 日曜開館(9:30~17:00、入館者270名)
- 7月1日 学生アルバイト(大学院生)採用(~平成9年3月31日)
情報サービス課1名(パソコン相談員、パソコン・コーナー)
パソコン増設作業開始(パソコン・コーナー)
- 2日 文書管理担当者会議(庶務課)大谷健三ほか2名
「学校法人京都産業大学評議員」に委嘱 村橋元雄(任期:~平成
9年2月11日)
- 4日 図書館次期システム・デモンストレーション(伊藤忠テクノサイエ
ンス株式会社)
工学部情報通信工学科特別研究 説明会(図書館ホール)
- 5日 図書館次期システム・デモンストレーション(伊藤伊株式会社)
- 7日 日曜開館(9:30~17:00、入館者381名)
- 8日 増設パソコン・セットアップ(パソコン・コーナー)
平成8年度事務機械化研修 応用コース(総務課、8、10、12日の
3日)西村純一
- 10日 前期授業終了
- 11日 前期定期試験(~24日)
普通図書夏期休暇貸出開始
図書館次期システム・デモンストレーション(株式会社NEC)

- 12日 NACSIS-CATオンライン負荷テスト
- 14日 日曜開館(9:30~17:00、入館者677名)
- 15日 図書館次期システム委員会
館内空気環境測定
平成8年度事務機械化研修 応用コース(総務課、15、17、19日の
3日)別所博子、徳田良明
- 18日 指定図書夏期休暇貸出開始
岡村誠三氏寄贈図書受取り 近藤賢二、西村純一
- 20日 祝日開館(9:30~17:00、入館者445名)
- 22日 第1回オープン・キャンパス(入試課、図書館見学者348名)
平成8年度事務機械化研修 応用コース(総務課、22、24、25日の
3日)澤熊智美ほか3名
- 24日 前期定期試験終了
学校法人京都産業大学評議員会 村橋元雄
- 25日 夏期休暇定時開館(~9月14日:夏期休業、8:45~16:30)
NACSIS-CATオンライン負荷テスト
- 26日 国書逸文研究会(グループ視聴覚室)
コンテナサーバー点検
自動火災報知器点検(~27日)
- 31日 月末作業日(休館)
視聴覚機器保守点検
学外兼職(~8月3日、甲南大学文学部非常勤講師として目録法の
集中講義を担当)横山桂
- 8月1日 第2回オープン・キャンパス(~2日、入試課、図書館見学者1日:
444名、2日:457名)
- 5日 『京都産業大学図書館年報』1996(第15号)発行
非常放送設備点検
平成7年度研修参加一覧を総務課へ提出
- 6日 冷暖房設備自動制御機器点検作業(~8日)
- 10日 休館(~19日夏期一斉休業)
機械室湧水清掃
- 11日 害虫防除作業
- 22日 消火設備点検
- 28日 受水槽等清掃及び補修整備

- 9月1日 臨時職員採用(～平成9年3月31日の毎土曜日のみ勤務)
 図書管理課1名(和書整理業務補助)
- 2日 消火設備点検(ハロン消火設備、スプリンクラー、排煙設備等)
- 3日 学術情報センター接続用パソコン7台、プリンター1台更新決定
- 5日 文部省学術国際局平成8年度大学図書館実態調査に回答
- 10日 M B A 来館：学術情報センター接続用ソフトFusionのメンテナンス
- 13日 臨時休館
 全体会議
 図書館職員同和研修会
 図書館職員研修会
- 14日 第3回オープン・キャンパス(入試課、図書館見学者508名)
- 17日 後期授業開始
 定時外開館(～12月20日、平日8:30～20:00、土曜日8:30～16:30)
 増設パソコン共用開始
 読書室を「パソコン室」に改称
 『Lib. 京都産業大学図書館報』V.23, No.2発行
 平成8年度事務機械化研修 基本コース(総務課、17、18、20日の3日)小寺源吾ほか3名
- 18日 学生証不携帯者入館手続改正
- 19日 3階に目録用端末機及びC D - R O M 検索用パソコン各2台増設
 工学部情報通信工学科特別研究 説明会(図書館ホール)
- 24日 夏期休暇貸出図書返却期限日
 所属長会
 平成8年度事務機械化研修 基本コース(総務課、24、25、27日の3日)中上ゆかり、森井真由美
- 25日 外国語教育研究センター同和研修会(図書館ホール)
 平成8年度教育懇談会反省会(教務課)別所博子
- 26日 電動集密書架操作説明会
 コンテナサーバー用パソコン点検
- 27日 国土利用開発研究所講演会(図書館ホール)
- 30日 学外兼職(～平成9年1月13日、甲南大学文学部非常勤講師として
 目録法を講義)横山桂
 学術情報センター接続用パソコン3台(和書整理係・相互利用係用)

入替え

M B A 来館：学術情報センター接続用ソフトFusionのメンテナンス

10月1日 人事異動

配置換 近藤賢二(図書管理課長補佐)→語学ラボラトリーセンター事務長

木村公平(語学ラボラトリーセンター事務長)→図書管理課長補佐

吉川浩(図書管理課係長級)→厚生課厚生係長

島部知美(図書管理課)→総合能力開発室

池田恵子(経理課)→図書管理課

岩谷訓男(図書運用課長補佐)→教務課調査役

石田浩(厚生課長補佐)→図書運用課長補佐

蒲田宜子(図書運用課)→一般教育研究センター

山内奈津子(広報課)→図書運用課

2日 平成8年度第4回図書館委員会

平成8年度第3回図書館資料選択委員会

閉館時間繰上げ(16:30)

5日 第1回個別入試相談会(入試課、1階フロア)

7日 図書館新入職員研修会

14日 平成9年度オリエンテーション打合せ(学生課)澤熊智美

15日 平成9年度業務計画及び予算編成説明会(総務課・経理課)木村公平
ほか2名

平成9年度業務計画及び予算編成についての館内説明会

図書館次期システムについて業者との打合せ

株式会社日本スエッツ・プレゼンテーション(会議室)

小川環樹文庫蔵書印製作者 尾崎蒼石氏来館

18日 冷暖房機器点検・清掃

19日 図書館次期システムについて業者との打合せ

21日 日本私立大学連盟平成8年度大学図書館実態調査に回答

22日 学内救急患者の救援活動説明会(保健管理センター)別所博子

24日 NACSIS-CATオンライン負荷テスト

28日 平成8年度システム農学会(～29日、図書館ホール)

29日 防犯レーダー及び火災報知器点検

30日 図書館次期システム見積書受取

- 11月1日 インターネット・ホームページ委員会発足(任期：～平成9年10月31日)委員長：天笠洋一
閉館時間を16：30に繰上げ(神山祭準備)
臨時職員採用(～平成9年3月31日)
図書管理課1名(雑誌業務補助)
図書運用課1名(視聴覚業務補助)
- 2日 臨時休館(神山祭)
平成8年度後期教養講座第4回(生涯学習教育センター、図書館ホール)
- 5日 定時開館(8：45～16：30、神山祭後始末)
図書館次期システムに関する打合せ
- 12日 館内空気環境測定
- 14日 同窓会ヨーロッパ研修旅行説明会(図書館ホール)
- 15日 図書館次期システム委員会
- 16日 共同研究「言語接触と言語構造」第3回研究会(国際言語科学研究所、図書館ホール)
- 21日 館内撮影(入試課)
- 22日 平成9年度予算集計表、支出内訳表、収入内訳表及び業務計画調査票提出
- 25日 MBA来館：学術情報センター接続用ソフトFusionのメンテナンス
- 26日 平成8年度中部地区学生補導厚生研究会第38回近畿地区部課長研究会の講演において、貴重図書『賀茂葵祭行装ノ図』ほか1点を展示 日本文化研究所長所功教授
- 27日 所属長会
平成8年度第5回図書館委員会
平成8年度第4回図書館資料選択委員会
- 29日 月末作業日(休館)
全体会議、課会議
- 30日 臨時休館(推薦入学選考)
- 12月4日 同窓会ヨーロッパ研修旅行説明会(図書館ホール)
- 6日 普通図書冬期休暇貸出開始
- 8日 日曜開館(9：30～17：00、入館者120名)
- 10日 図書館次期システムについて業者との打合せ
3階情報検索コーナーにて雨漏り

- 11日 平成9年度予算に関するヒヤリング(経理課)村橋元雄ほか3名
同和教育研修会(図書館ホール)
- 12日 平成9年度業務計画調査票に関するヒヤリング(総務課)村橋元雄
ほか3名
平成8年度第2回事務機械化推進委員会(学事課)横山桂
館内撮影(鹿島建設株式会社)
- 13日 指定図書冬期休暇貸出開始
学術情報センター接続用パソコン4台(洋書整理係用)入替え
- 15日 日曜開館(9:30~17:00、入館者195名)
- 18日 2~3階コピー・コーナーに複写機2台を増設(~平成9年1月31
日)
- 20日 後期授業一旦終了
- 21日 冬期休暇定時開館(~26日、8:45~16:30)
- 24日 学生相談担当者会議(学生相談室)石田浩
- 25日 係長会議
- 26日 第16回大学図書館研究集会用展示ブース測量(神山ホール)大山襄、
木村公平
- 27日 冬期休暇休館(~1月6日)
全体会議
- 平成9年1月7日 開館(10:00~16:30)
『Lib. 京都産業大学図書館報』V.23, No.3発行
- 8日 後期授業再開
定時外開館(~2月19日、平日8:30~20:00、土曜日8:30~16:
30)
MBA来館:学術情報センター接続用ソフトFusionのメンテナンス
- 10日 京都産業大学カードについての打合せ(経理課等)村橋元雄、大山襄
- 12日 日曜開館(9:30~17:00、入館者567名)
- 13日 冬期休暇貸出返却期限日
次年度ライブラリー・ガイダンスについて図書館委員との打合せ
横山桂、澤熊智美
京都産業大学カードについての打合せ(経理課等)村橋元雄ほか
- 14日 館内空気環境測定
- 15日 祝日開館(9:30~17:00、入館者693名)
- 16日 京都産業大学カードについての打合せ(経理課等)宝田育久

- 18日 後期授業終了
- 19日 日曜開館(9 : 30 ~ 17 : 00、入館者1,224名)
- 20日 学年末定期試験開始(~ 2月19日)
入館者7,871名(最高記録)
- 21日 図書館次期システムについて業者との打合せ
- 22日 閉館時間を16 : 30に繰上げ(大雪)
- 24日 冬期休暇貸出の延滞者に督促状発送
- 26日 日曜開館(9 : 30 ~ 17 : 00、入館者477名)
- 28日 所属長会
- 29日 平成 8 年度第 6 回図書館委員会
- 30日 学校法人京都産業大学評議員会 村橋元雄
会計検査院実地調査についての打合せ(経理課)小寺源吾
- 31日 貴重書庫整理・点検
- 2月2日 日曜開館(9 : 30 ~ 17 : 00、入館者215名)
- 4日 所属長会
- 5日 定時開館(8 : 45 ~ 16 : 30、入学試験準備)
普通図書春期休暇貸出開始
工学部情報通信工学科特別研究 研究発表会(図書館ホール)
電子メール利用説明会(計算機センター、会議室)赤瀬美穂ほか
館内撮影(入試課)
- 6日 臨時休館(~ 10日、入学試験)
- 11日 祝日開館(9 : 30 ~ 17 : 00、入館者336名)
- 12日 指定図書春期休暇貸出開始
平成 9 年度予算要求書提出
- 16日 害虫防除作業
- 18日 海外交流拡大プロジェクト・チーム発足、第 1 回会議 近江由紀子
- 19日 学年末定期試験終了
鍵付傘立て撤去(以後鍵なし傘立てとビニール袋を併用)
- 20日 春期休暇定時開館(~ 3月31日、 8 : 45 ~ 16 : 30)
第 1 回平成 9 年度研究設備等私大助成(文部省)申請代表者打合せ
(教務課)木村公平
- 26日 会計検査院による実地調査(~ 28日)
受付カウンターに事務室連絡用ブザー設置
- 27日 平成 8 年度卒業予定者返却期限日

- 会計検査官、平成7年度私大助成採択分2点を調査
- 28日 会計検査官、図書館を見学
月末作業日(休館)
全体会議、課会議
図書館職員研修会
平成8年度第2回インターネット・ホームページ委員会
地下汚水槽清掃
- 3月3日 第16回大学図書館研究集会展示会幹事会社との打合せ
- 5日 同和教育研修会(図書館ホール)
- 7日 平成8年度卒業予定の延滞者に督促状発送
- 10日 平成8年度職員研修会課長級以上(総務課)村橋元雄ほか3名
- 11日 平成9年度新入生オリエンテーション打合せ(学生課)
第16回大学図書館研究集会用展示ブース測量(神山ホール)大山襄、
木村公平
- 13日 留学生ライブラリー・ガイダンス
所属長会
- 14日 工学部生物工学科特別研究発表会(図書館ホール)
『個人研究費・助成金ガイド』の発行に関する打合せ(教務課)小寺
源吾、木村公平
- 17日 MBA来館：学術情報センター接続用ソフトFusionのメンテナンス
- 19日 平成9年度(第22回)学術研究振興資金(学術振興財団)の交付内定
について(教務課)小寺源吾、木村公平
超過勤務処理業務の機械化についての説明会(庶務課)小寺源吾ほ
か
図書館次期システム委員会
館内撮影(入試課)
- 25日 パソコン室空調機設置工事(～4月5日)
- 26日 エレベーター修理
2階コピー・コーナーの複写機1台にブック専用キットを連結
- 31日 嘱託職員中島由美子契約満了により退職

2. 館外研修

- 平成8年4月18日 10号館建設プロジェクト・チーム他大学訪問(京都精華大学)蒲田宜
子

- 5月24日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会第10回京都地区相互協力連絡会(京都橘女子大学)近藤賢二、宮垣なぎ
私立大学図書館協会西地区部会平成8年度春季京都地区協議会(第108回)(京都橘女子大学)近藤賢二、宮垣なぎ
平成8年度第1回自己点検・評価手法ガイドライン作成委員会(本学図書館会議室)小寺源吾
- 28日 平成8年度第1回目録システム講習会(図書コース)(～30日、学術情報センター)赤瀬美穂
- 6月14日 私立大学図書館協会1996(平成8)年度西地区部会総会(岡山理科大学)坂井東洋男、小寺源吾
- 19日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)第1回合宿研修会(～21日、主催：私学研修福祉会、豊橋市)久保理恵
- 21日 平成8年度第2回自己点検・評価手法ガイドライン作成委員会(立教大学)小寺源吾
第22回大阪地区法律関係資料に関する図書館・資料室連絡会(大阪大学法学部)澤熊智美
- 25日 大阪府立中央図書館見学会(主催：専門図書館関西地区協議会)別所博子
- 7月18日 平成8年度近畿著作権セミナー(～19日、主催：文化庁・大阪府教育委員会、大阪府立大学)蒲田宜子
- 24日 平成8年度私立大学図書館協会第1回東西合同役員会(東北学院大学同窓会館)小寺源吾
- 25日 平成8年度(第57回)私立大学図書館協会総会・研究大会・見学会(～27日、東北学院大学)坂井東洋男ほか2名
- 8月20日 第62回 I F L A (国際図書館連盟)北京大会(～9月1日)坂井東洋男
- 21日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)第2回合宿研修会(～23日、豊橋市)久保理恵
- 28日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)グループ活動(立命館大学)久保理恵
- 9月11日 平成8年度第3回自己点検・評価手法ガイドライン作成委員会(～13日、北海学園大学)小寺源吾
- 18日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)大学訪問(～

- 19日、西南学院大学)久保理恵
部落基本法を考える府民講座第20期第2回(主催：部落解放基本法
制定国民運動京都府実行委員会、京都市)澤熊智美、吉川
浩
- 26日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会第11回相互協力連
絡会(京都薬科大学)村橋元雄、徳田良明
私立大学図書館協会西地区部会平成8年度秋季京都地区協議会(第
109回)(京都薬科大学)村橋元雄、徳田良明
- 27日 図書館次期システムに関する打合せ(京都市)宝田育久
- 10月4日 私立大学図書館協会1996(平成8)年度西地区部会研究会(摂南大
学)天笠洋一
- 11日 平成8年度私立大学図書館協会京都地区研究会主題別研究会A(書
誌)(京都外国語大学)井上智英子
- 14日 大阪市立大学学術情報センター開設記念式典 大山襄
- 17日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)大学訪問(~
18日、松山大学)久保理恵
- 23日 平成8年度(第82回)全国図書館大会(~25日、主催：日本図書館協
会、大分県)坂井東洋男、村橋元雄
- 11月8日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)グループ活
動(~18日、同志社大学)久保理恵
平成8年度私立大学図書館協会京都地区研究会主題別研究会B(業
務)(天理大学)西村純一
- 25日 平成8年度私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会研修大
会(龍谷大学大宮学舎)木下妙子、森井真由美
- 27日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)第3回合宿
研修会(~28日、豊橋市)久保理恵
- 29日 法律図書館連絡会第39回総会・見学会(~30日、大阪市立大学)澤熊
智美
- 12月5日 第16回大学図書館研究集会第1回企画委員会(慶應義塾大学)横山
桂
第5回京都図書館大会(京都府田辺町)事例報告：赤瀬美穂
第11回私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会相互協力連
絡会研修会(立命館大学)近江由紀子
- 6日 平成8年度私立大学図書館協会第2回常任幹事会(西南学院大学)

小寺源吾

- 10日 図書館次期システムに関する打合せ(京都市)宝田育久ほか5名
- 12日 平成8年度学術情報センター・シンポジウム(大阪府立中央図書館)
天笠洋一
- 19日 平成8年度第4回自己点検・評価手法ガイドライン作成委員会(～
20日、名古屋市)小寺源吾
- 平成9年1月31日 平成8年度第2回『大学図書館研究』編集委員会(東京工業大学)横
山桂
- 2月21日 新目録所在情報サービス説明会(主催：学術情報センター、京都大
学)赤瀬美穂、徳田良明
- 26日 第16回大学図書館研究集会第2回企画委員会(慶應義塾大学)横山
桂
- 3月3日 他大学図書館雑誌業務調査(立命館大学)木村公平、長田伸寛
- 4日 電子図書館サービス説明会(主催：学術情報センター、大阪大学吹
田キャンパス)別所博子、近江由紀子
- 6日 東京学芸大学訪問(大学図書館研究集会の引継ぎ)坂井東洋男ほか
2名
国際交流拡大プロジェクト・チーム他大学訪問(関西大学、関西学
院大学)近江由紀子
- 7日 平成8年度私立大学図書館協会第3回西地区部会役員会(新旧合
同)(東京都)坂井東洋男ほか2名
平成8年度私立大学図書館協会第2回東西合同役員会(新旧合
同)(東京都)坂井東洋男ほか2名
- 15日 他大学図書館雑誌業務調査(関西大学)木村公平、長田伸寛
- 25日 Oracle最新情報セミナー(主催：日本オラクル株式会社、大阪市)
天笠洋一
- 26日 第16回大学図書館研究集会第3回企画委員会(慶應義塾大学)横山
桂

3. 館内研修

- 平成8年4月8日 図書館新入職員研修会
- 5月31日 図書館職員研修会：事例研究発表
「大学図書館職員とは；利用者と接して考えたこと」(1995年(平
成7年)度第2次職員総合研修(基礎課程)参加報告)天

笠洋一

9月13日 図書館職員同和研修会

人権問題啓発視聴覚教材『青い眼茶色い眼；教室は眼の色で分けられた』を鑑賞

図書館職員研修会：事例研究発表

「17年ぶりの中国；第62回 I F L A 北京大会に参加して」坂井東洋男

「新聞の収集から保存について」吉川浩

10月7日 図書館新入職員研修会

平成9年2月29日 図書館職員研修会：事例研究発表

「1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)」久保理恵

4. 見学者

- 平成8年6月8日 綾部市教育委員会 25名
- 7月4日 岐阜教育大学図書館 達日出典氏ほか
- 25日 就実女子大学・就実短期大学司書課程受講生 25名(引率者2名)
- 29日 ノートルダム女子大学司書課程受講生 2名
- 9月12日 佛教大学図書館 山本博子氏ほか4名
- 21日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(基本コース)W-02グループ
- 10月3日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(応用課程)第2グループ
- 11日 テッセン財団(ドイツ)2名
- 14日 慶應義塾大学三田メディアセンター 梁瀬三千代氏ほか1名
- 22日 佛教大学園部キャンパス開発室 本庄良英氏ほか5名
- 25日 1996年(平成8年)度第2次職員総合研修(応用課程)第3、9、10グループ
- 29日 大阪国際大学図書館 木谷勤氏ほか5名
- 11月5日 ニュージーランド総領事 S.ペイトン氏
- 22日 マセイ大学(ニュージーランド) J.マクウォ学長ほか3名
- 28日 新潟大学法学部講師 栗原真佐子氏ほか1名
- 12月9日 広島経済大学図書館 西川英治氏ほか4名
- 平成9年2月7日 輔仁大学(台湾)学术交流委員会 尤秀芳氏ほか7名
- 3月8日 宇治市教育委員会 30名
- 11日 玉川大学アーツネットセンター準備室 北見裕氏
- 13日 防衛大学校図書館 鷺谷妙氏ほか1名

基礎資料・統計 (1996.4.1～1997.3.31)

期間・日時を明示していないものは、全て年間・年度末時点のデータである。

1. サービス対象者・図書館職員

(1) サービス対象者数(人)

平成8年5月1日現在

内訳 所属	学生			教員		職員	卒業生	合計
	学部	研究科	聴講生	専任	非常勤			
経済学部	3,092	13		25	11		139	3,280
経営学部	3,292			29	14		102	3,437
法学部	3,121	13		30	15		292	3,471
外国語学部	2,346	5		65	80		240	2,736
理学部	786	21		40	10		67	924
工学部	607	17		23	16		27	690
教育研究センター				65	103			168
研究所				24	1			25
その他			15			250		265
合計	13,244	69	15	301	250	250	867	14,996
前年	13,189	55	20	304	232	258	884	14,942

教育研究センターは、一般・英語・外国語・体育の4センターの合計である。

研究所は、計算機科学・世界問題・国際言語科学・国土利用開発・現代体育・日本文化の6研究所の合計である。

聴講生には、外国語専攻科生、外国人特別生及び委託生を含む。

卒業生は年度末までの図書館利用申請者の人数である。

(2) 図書館職員数(人)

平成8年5月1日現在

	専任	兼任	嘱託	臨時	合計	前年
館長		1			1	1
次長	1				1	1
図書管理課	17			4	21	22
図書運用課	9			2	11	12
情報サービス課	7		1		8	7
合計	34	1	1	6	42	43
前年	35	1	2	10	48	

2. 施設・設備

(1) 面積・座席数・収容能力

		面積 (㎡)					座席数	資料収容能力 (冊数・点数)				
		閲覧	書庫	事務室	その他	計		図書	雑誌	新聞	マイク資	視聴覚
中央 図 書 館	1 階	633	72	590	972	2,267	313	1,200			101,920	16,760
	2 階	1,691			564	2,255	485	52,330	1,764	82		
	3 階	1,670		22	408	2,100	437	65,820				
	屋階				7	7						
	地下 1 階	57	1,091		144	1,292	15	402,600				
	地下 2 階	23	1,183	21	963	2,190	9	199,700				
	小計	4,074	2,346	633	3,058	10,111	1,259	721,650	1,764	82	101,920	16,760
資料 室・ 保 存 書 庫	経済・経営学部	53				53	10	918				
	法学部	80				80	12	1,368				
	外国語学部	53				53	12	1,872				
	理学部	114				114	16	4,284	550			
	情報通信工学科	39				39	9		100			
	生物工学	21				21	8		120			
	保存書庫		61			61		50,900				
	9 号館書庫		190						48,300			
	小計	360	251	0	0	421	67	59,342	49,070	0	0	0
合計		4,434	2,597	633	3,058	10,532	1,326	780,992	50,834	82	101,920	16,760

図書の収容能力は、書架 1 段を 25 冊として算出した。

(2) 情報機器等設置状況

用途	種 別	機 種	台数
パソコン室	P C プリンター	DE C p c X L 4 6 6 d 2	1 2
		富士通 F M V - 5 1 3 3 D P S	1 2
		A p p l e Power Macintosh 6100/66	1 2
		A p p l e Power Macintosh 7200/120	1 2
		C a n o n L B P - 3 1 0	1
		E P S O N L P - 8 0 0 0 S	1
オンライン目録	P C	富士通 F M V - 4 3 3 S D 2	1 4
	プリンター	E P S O N L P - 1 0 0 0	3
参考業務	P C プリンター モデム	富士通 F M V - 5 1 3 3 D P S	2
		富士通 F M V - 4 3 3 D 2	3
		富士通 F M V - 4 9 9 D 2	1
		DE C p c L p v 4 3 3	1
		NE C P C - 9 8 0 1 B X 2	2
		I B M P S / 5 5 Z	1
		A p p l e Power Macintosh 7100/80AV	1
		E P S O N L P - 1 5 0 0	1
		E P S O N L P - 1 0 0 0	1
		B o c a M 1 4 4 J E	1
図書館ホール	液晶プロジェクター	E P S O N E L P - 5 0 0 0	1
	P C	飯山 a P 5 5 0 1 7	1
閲覧業務	P C 自動貸出返却機 Handy パーコード・リーダ " 転送インターフェイス	富士通 F M V - 4 3 3 S D 2	2
		富士通 F M R - 2 8 0 L	1
		東急車両 A B C	1
		Welcat P B D - 1 0 - 0 2	7
		" P B D - 1 0 - 3 5	1
受入・整理・管理等 (事務室)	P C プリンター パーコード・プリンター	富士通 F M V - 5 1 3 3 D 6	7
		富士通 F M V - 5 1 3 3 D P S	2
		富士通 F M V - 4 6 6 D 2	6
		富士通 F M V - 4 3 3 D 2	1
		TowTop V I P - 5 1 3 3	1
		DE C p c X L 4 6 6 d 2	1
		C a n o n L B P - A 3 0 9 G	1
		C a n o n L B P - B 4 0 6 E	1
		C a n o n L B P - B 4 0 6 S	1
		E P S O N L P - 9 0 0 0 P S	1
		E P S O N M J - 1 0 0 0	1
		E P S O N M J - 5 0 0 0 C	1
		H P L a s e r J e t 4 P J	1
		H P L a s e r J e t 5 L	1
		インターメック 8 6 4 6	1
サーバー & L A N	P C サーバー (CD-ROM Server) Ethernet ブリッジ ネットワーク・コンバータ	DE C p c 4 6 6 d 2 M T E	1
		富士通 F M - S e r v e r (5166)	2
		アライド CenterCOM 2975S	1
		富士通 F 9 1 9 0 K	1
事務専用機	P C プリンター	富士通 F M V - 4 9 9 D 3	1
		富士通 F M V - 4 1 0 0 D 4	4
		富士通 X L - 5 6 0 0	1
		富士通 X L - 5 7 0 0	1

(3) 視聴覚施設・機器設置状況

施設	機器	台数	視聴方式	定員
個人 視聴覚室 (1室)	ビデオテープ (SVHS) レーザーディスク (LD) " (CLD) モニターテレビ (11インチ) コンパクトディスク カセットテープ	10 5 5 15 5 9	ヘッドホン	40名
グループ 視聴覚室 (5室)	ビデオテープ (SVHS) レーザーディスク モニターテレビ (27インチ) コンパクトディスク カセットテープ レコードプレーヤ (20名室)	5 5 5 5 5 2	ルーム スピーカー	15名 (5名×3室) 40名 (20名×2室)
図書館 ホール	ビデオプロジェクター ビデオテープ (SVHS) " (VHS) " (β) " (u) コンパクトディスク レーザーディスク カセットテープ レコード スライド 液晶プロジェクター (パソコン用) 教材提示装置 編集機 (VHS) ビデオカメラ式	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	フロント スピーカー	最大収容 178名 (内 98席固定)
映像送出 装置	レーザーディスク ビデオ (β) ビデオ (u)	1 1 1		
移動式 ビデオ	ビデオ (β) ビデオ (u)	2 1		
マイクロ リーダー室	コンテナサーバーシステム マイクロリーダープリンター	1 2		

(4) 複写機設置状況

設置場所	機種	台数	用途
1階事務室	ゼロックスVivace330, Able3321	2	事務用, 文献複写
2階複写コーナー	ミノルタEP3050, BC3000A・B	5	文献複写
3階複写コーナー	" EP3050, CF70 (カラー)	3	文献複写
地下1階	" EP3050	2	文献複写

3 . 蔵書・整理統計

(1) 主題別登録資料冊数

		年間受入	除籍	目録変更	累積	前年累積
和 書	総 記	597	13	124	12,048	11,340
	哲 学	1,176	8	249	20,987	19,570
	歴 史	2,317	11	237	37,490	34,947
	社 会	5,639	34	-898	115,394	110,687
	自 然	2,199	16	-102	39,919	37,838
	工 学	1,222	4	-120	19,992	18,894
	産 業	642	2	-317	17,272	16,949
	芸 術	1,739	1	-3	22,404	20,669
	語 学	1,037	16	204	19,287	18,062
	文 学	2,332	9	1,391	45,723	42,009
	逐次刊行物	1,233	149	1,073	60,595	58,438
	漢 籍	193	0	-20	27,251	27,078
	そ の 他	422	0	5,120	6,214	672
	小 計	20,748	263	6,938	444,576	417,153
洋 書	総 記	162	0	-13	10,079	9,930
	哲 学	388	0	81	14,443	13,974
	歴 史	611	0	91	17,904	17,202
	社 会	1,733	3	181	63,070	61,159
	自 然	865	2	58	37,169	36,248
	工 学	223	0	40	8,120	7,857
	産 業	205	0	28	6,558	6,325
	芸 術	400	0	30	5,800	5,370
	語 学	770	0	240	24,451	23,441
	文 学	1,094	1	399	54,192	52,700
	逐次刊行物	4,798	3	144	95,512	90,573
	そ の 他	316	0	-843	2,378	2,905
	小 計	11,565	9	436	339,676	327,684
合 計		32,313	272	7,374	784,252	744,837

(2) 所在別冊数 (登録資料)

		和書	洋書	合計
中央図書館	1 階	11,442	3,617	15,059
	2 階	75,499	1,758	77,257
	3 階	93,342	769	94,111
	地下 1 階	199,803	84,336	284,139
	地下 2 階	1,409	227,808	229,217
	コンテナ・サーバ -	14,416	10,937	25,353
	貴重書庫	539	1,464	2,003
	小計	396,450	330,689	727,139
経済・経営学部資料室		591	204	795
法学部資料室		466	284	750
外国語学部資料室		493	850	1,343
理学部資料室		215	735	950
現代体育研究所		196	0	196
語学フォーラムセンター		2,026	3,317	5,343
教職課程講座センター		233	6	239
法職講座センター		714	0	714
同和教育資料室		1,773	15	1,788
保存書庫		41,419	3,576	44,995
小計		48,126	8,987	57,113
合計		444,576	339,676	784,252

(3) 運用別冊数 (登録資料)

普 通 図 書	292,076	209,941	502,017
指 定 図 書	4,851	257	5,108
参 考 図 書	32,445	13,838	46,283
大 型 本	1,588	19	1,607
文 庫 ・ 新 書	17,026	131	17,157
京 都 関 係	1,006	1	1,007
就 職 ・ 資 格	318	0	318
逐 次 刊 行 物	60,595	95,512	156,107
視 聴 覚 資 料	15,661	6,909	22,570
マイクログ資料	11,564	10,685	22,249
荒 木 文 庫	1,514	378	1,892
大 石 文 庫	512	2	514
小川環樹文庫	2,101	0	2,101
教 員 文 庫	419	30	449
社 史	2,572	1,152	3,724
貴 重 書	1	75	76
準 貴 重 書	50	733	783
学 位 論 文	277	13	290
合計	444,576	339,676	784,252

(4) 非図書資料（登録資料）

	和書	洋書	合計	前年
録音カセット	2,377	2,723	5,100	4,986
レコード	43	226	269	269
コンパクト・ディスク	1,790	218	2,008	1,839
録音資料：その他	83	497	580	579
映画フィルム	166	96	262	262
スライド	80	55	135	135
トランスペアレンシー	2	2	4	4
ビデオカセット	9,306	2,796	12,102	10,811
フィルムストリップ	0	2	2	2
レーザー・ディスク	1,640	35	1,675	1,450
写真フィルム／ネガ	3	0	3	2
マイクロフィルム	11,329	9,833	21,162	20,557
マイクロフィッシュ	235	852	1,087	1,048
C D - R O M	161	141	302	225
磁気カートリッジ	0	6	6	6
フロッピーディスク	10	106	116	100
磁気テープ（MT）	0	6	6	6
地図	35	362	397	397
点字資料	8	0	8	8
絵画	1	3	4	4
標本	0	1	1	1
模型	0	1	1	1
年表（１枚もの）	1	0	1	1
手稿	0	2	2	1
卷子物	11	2	13	11
楽譜	4	12	16	15
その他	0	3	3	3
合計	27,285	17,980	45,265	42,723

(5) 所属別冊数（登録資料）

	和書	洋書	合計
経済学部	39,149	40,202	79,351
経営学部	25,388	20,003	45,391
法学部	35,717	34,180	69,897
外国語学部	69,683	91,514	161,197
理学部	17,974	54,582	72,556
工学部	5,848	12,023	17,871
一般教育研究センター	1,066	370	1,436
英語教育研究センター	354	718	1,072
外国語教育研究センター	976	1,646	2,622
体育教育研究センター	627	54	681
旧教養部	103,590	58,494	162,084
計算機科学研究所	854	2,388	3,242
世界問題研究所	1,829	2,105	3,934
国際言語科学研究所	1,748	3,773	5,521
国土利用開発研究所	4,562	1,115	5,677
現代体育研究所	2,293	173	2,466
日本文化研究所	451	136	587
語学ラボラトリセンター	2,110	3,717	5,827
教職課程講座センター	6,687	2,650	9,337
保健管理センター	1,340	60	1,400
同和教育資料室	4,030	32	4,062
図書館	118,300	9,741	128,041
合計	444,576	339,676	784,252

(6) 逐次刊行物所蔵誌数

	人文	社会	自然	合計
和 雑 誌	2,303	2,576	771	5,650
洋 雑 誌	1,416	1,806	1,314	4,536
合計	3,719	4,382	2,085	10,186

(7) 逐次刊行物継続受入誌数
分野別

	人 文		社 会		自 然		合 計		
	和	洋	和	洋	和	洋	和	洋	計
雑誌(購入)	367	524	277	530	191	485	835	1,539	2374
雑誌(寄贈)	161	22	182	27	38	12	381	61	442
紀要・論集	948	5	644	27	130	14	1722	46	1768
小計	1,476	551	1103	584	359	511	2,938	1,646	4584
新聞(購入)	43	34	3	12	1	1	47	47	94
新聞(寄贈)	4	1	0	0	0	0	4	1	5
加除式資料	9	3	158	49	9	3	176	55	231
合計	1,532	589	1264	645	369	515	3,165	1,749	4914

所属別

	購 入		寄 贈		合 計		
	和	洋	和	洋	和	洋	計
学 生 用	165	41	811	12	976	53	1,029
経 済 学 部	52	217	295	31	347	248	595
経 営 学 部	78	149	228	4	306	153	459
法 学 部	238	193	222	17	460	210	670
外 国 語 学 部	127	277	171	4	298	281	579
理 学 部	44	253	68	21	112	274	386
工 学 部	54	170	25	1	79	171	250
一般教育研究センター	110	46	165	7	275	53	328
英語教育研究センター	0	61	8	0	8	61	69
外国語教育研究センター	44	94	3	1	47	95	142
体育教育研究センター	32	2	13	0	45	2	47
計 算 機 科 学 研 究 所	1	8	0	0	1	8	9
世 界 問 題 研 究 所	5	5	2	0	7	5	12
国 際 言 語 科 学 研 究 所	0	18	3	0	3	18	21
国 土 利 用 開 発 研 究 所	19	9	9	1	28	10	38
現 代 体 育 研 究 所	6	26	2	0	8	26	34
日 本 文 化 研 究 所	6	2	2	0	8	2	10
語学ラボラトリーセンタ	2	0	0	0	2	0	2
教職課程講座センター	18	11	9	0	27	11	38
法 職 講 座 セ ン タ ー	8	0	0	0	8	0	8
会 計 職 講 座 セ ン タ ー	5	0	1	0	6	0	6
保 健 管 理 セ ン タ ー	10	1	0	0	10	1	11
同 和 教 育 資 料 室	6	0	3	0	9	0	9
図 書 館 (事 務 用)	28	58	67	9	95	67	162
合計	1,058	1,641	2,107	108	3,165	1,749	4,914

(8) 年間整理冊数 (過去5年間)

		1992	1993	1994	1995	1996
和 書	和 図 書	20,638	14,025	19,331	17,444	17,168
	中 国 語	1,857	2,041	3,395	1,353	1,026
	和 雑 誌	2,394	15,508	1,667	5,040	1,233
	小 計	24,889	31,574	24,393	23,837	19,427
洋 書	洋 図 書	6,804	8,966	7,574	9,098	6,037
	露 語	280	183	353	530	173
	洋 雑 誌	5,217	3,916	6,002	3,335	4,798
	小 計	12,301	13,065	13,929	12,963	11,008
合 計		37,190	44,639	38,322	36,800	30,435

(9) 書誌レコード件数の推移 (過去5年間)

		1992	1993	1994	1995	1996
和 図 書		221,066	231,468	249,038	263,034	277,910
和 雑 誌		2,748	3,537	4,810	5,146	5,651
洋 図 書		191,405	199,386	206,184	215,131	221,626
洋 雑 誌		3,439	4,118	4,374	4,472	4,537
露 語		280	535	1,752	2,398	2,698
合 計		418,938	439,044	466,158	490,181	512,422

4. 利用統計

(1) 開館・入館者

中央図書館開館統計

	開館日数		定時外開館	
	総日数	(日・祝日)	時間	日数
平成8年4月	23		67.75	19
5月	23		79.25	23
6月	30	(5)	136.25	30
7月	28	(3)	104.00	24
8月	16		72.00	16
9月	22		47.75	13
10月	26		87.50	25
11月	21		65.00	20
12月	23	(2)	81.75	19
平成9年1月	25	(4)	112.50	24
2月	20	(2)	59.00	12
3月	25		22.50	5
合計	282	(16)	935.25	230
前年	281	(16)	878.75	227

日曜・祝日開館実施状況

今年度

開館日	入館者数
7月 2日	1 4 6
9日	1 4 8
16日	2 1 1
23日	1 9 9
30日	2 7 0
7月 7日	3 8 1
14日	6 7 7
20日	4 4 5
12月 8日	1 2 0
15日	1 9 5
1月12日	5 6 7
15日	6 9 3
19日	1, 2 2 4 (最高入館者数)
26日	4 7 7
2月2日	2 1 5
11日	3 3 6
合計	6, 3 0 4
平均	3 9 4 16日間

前年度

開館日	入館者数
6月 4日	1 0 9
11日	2 0 0
18日	9 7 (最低入館者数)
25日	1 5 9
7月 2日	3 1 4
9日	5 5 2
16日	5 5 4
12月 3日	9 8
10日	1 1 0
17日	1 3 4
1月14日	4 2 2
15日	4 7 3
21日	1, 1 3 6
28日	5 5 9
2月11日	1 6 7
12日	2 3 1
合計	5, 3 1 5
平均	3 3 2 16日間

入館者数

	中央図書館
平成8年4月	47,456
5月	54,947
6月	59,092
7月	69,572
8月	5,347
9月	34,889
10月	58,375
11月	47,471
12月	47,678
平成9年1月	93,213
2月	15,833
3月	10,185
合計	544,058
前年	525,247

所属		人数
学部 学生	経済	98,907
	経営	94,707
	法	140,705
	外国語	115,838
	理	34,153
	工	34,421
院生		7,298
聴講生		144
卒業生		6,219
教員		8,597
職員		1,134
その他		1,935

グループ学習室等利用件数

	グループ 学習室	研究個室		共同 利用室	対面 朗読室
		学生用	院生・教員		
平成8年4月	145	94	30	0	0
5月	408	80	62	0	0
6月	443	135	87	0	0
7月	459	303	57	0	0
8月	32	38	9	0	0
9月	145	49	19	0	0
10月	356	109	30	0	0
11月	262	68	33	1	0
12月	218	49	34	0	0
平成9年1月	388	284	41	0	2
2月	76	52	34	0	0
3月	30	23	18	0	0
合計	2,962	1,284	454	1	2
前年	2,767	1,160	777	3	10

(2) 貸出
貸出統計

	開架資料			論文 貸出	開架 資料	館内貸出		合計 (冊数)	合計 (人数)
	普通	指定	資格			視聴覚	雑誌等		
1年生	14,707	245	562	0	446	3,595	123	19,678	13,511
2年生	26,461	826	1,104	4	993	2,587	424	32,399	20,315
3年生	35,328	881	2,173	98	2,273	1,608	788	43,149	25,443
4年生	34,111	668	1,777	977	2,547	1,621	769	42,470	22,886
学部学生	110,607	2,620	5,616	1,079	6,259	9,411	2,104	137,696	82,155
大学院生	2,740	41	251	0	1,465	32	36	4,565	2,612
教員	2,355	22	11	22	6,596	11	39	9,056	3,609
職員	2,513	5	53	0	690	17	8	3,286	1,945
卒業生	2,221	2	312	0	224	134	40	2,933	1,474
その他	237	1	1	0	361	4	7	611	271
合計	120,673	2,691	6,244	1,101	15,595	9,609	2,234	158,147	92,066
前年	115,674	2,514	5,160	463	14,617	9,948	2,079	150,455	89,055

学部・主題別貸出冊数

	経済	経営	法	外国語	理	工	他	合計
総記	118	186	338	365	27	39	262	1,335
哲学	503	443	1,105	1,970	241	138	771	5,171
歴史	2,416	1,046	3,095	5,768	356	254	1,133	14,068
社会科学	10,146	6,707	17,474	10,162	694	357	1,923	47,463
自然科学	807	792	1,286	1,461	8,213	5,798	1,079	19,436
工学	1,828	1,563	773	1,242	853	2,148	467	8,874
産業	2,365	1,705	683	844	59	224	207	6,087
芸術	2,929	2,660	3,342	4,753	896	568	1,069	16,217
語学	485	395	745	6,802	165	143	711	9,446
文学	2,747	2,493	5,269	10,492	778	423	1,579	23,781
その他	749	932	2,401	1,027	432	227	501	6,269
合計	25,093	18,922	36,511	44,886	12,714	10,319	9,702	158,147
一人当り	7.7	5.5	10.5	16.4	13.8	15.0	21.2	10.5
前年	23,438	17,140	35,775	41,460	13,102	9,426	10,114	150,455

月別貸出冊数

年月	学生	院生	教員	職員	卒業生	その他	合計
平成8年4月	7,833	417	1,113	241	303	129	10,036
5月	11,073	477	730	299	371	39	12,989
6月	12,577	386	699	329	341	83	14,415
7月	14,691	378	1,023	403	291	74	16,860
8月	2,295	163	236	141	118	22	2,975
9月	10,615	346	593	230	160	45	11,989
10月	15,991	618	900	403	222	61	18,195
11月	14,460	523	675	330	178	13	16,179
12月	16,948	407	729	261	205	30	18,580
平成9年1月	23,189	443	655	278	189	63	24,817
2月	6,387	316	785	233	176	13	7,910
3月	1,637	91	918	138	379	39	3,202
合計	137,696	4,565	9,056	3,286	2,933	611	158,147
前年	130,395	3,482	9,058	3,197	3,281	1,042	150,455

B D S (Book Detection System)検出件数

	1年	2年	3年	4年	合計	構成員比
経済学部	17	7	18	16	58	1.876
経営学部	10	16	17	5	48	1.458
法学部	11	20	15	9	55	1.762
外国語学部	13	15	10	13	51	2.174
理学部	7	0	2	4	13	1.654
工学部	4	5	1	1	11	1.812
合計	62	63	63	48	236	1.782

投書件数（内容／学部・学年別）

資料について	23
施設・設備	12
制度について	11
開館時間延長	10
館内を静粛に	7
目録について	3
日曜開館	1
その他	8
合計	75
前年	44

	1年	2年	3年	4年	院生	他	合計
経済学部	1	4	5	2			12
経営学部	1	2	1	1			5
法学部	7	3	10	4		2	26
外国語学部	2	3	6	3			14
理学部			3	3			6
工学部	2	2		1			5
その他						7	7
合計	13	14	25	14	0	9	75

(3) 視聴覚施設利用
月別（件数）

施設 年月	個 人 視 聴 覚 室	グ ル ー プ 視 聴 覚 室	図 書 館 ホ ー ル	マ イ ク ロ リ ー ダ ー 室	合 計
平成8年4月	1,077	122	52	9	1,260
5月	1,319	182	79	4	1,584
6月	1,390	190	60	8	1,648
7月	1,073	135	15	14	1,237
8月	108	1	1	17	127
9月	693	116	11	29	849
10月	1,365	215	34	37	1,651
11月	1,120	142	21	27	1,310
12月	852	108	14	29	1,003
平成9年1月	714	84	0	18	816
2月	362	16	2	13	393
3月	216	3	3	12	234
合計	10,289	1,314	292	217	12,112
前年	10,945	1,286	298	212	12,741

利用者別（件数）

施設 利用者	個 人 視 聴 覚 室	グ ル ー プ 視 聴 覚 室	図 書 館 ホ ー ル	マ イ ク ロ リ ー ダ ー 室	合 計
教員	0	112	204	141	457
職員	0	0	23	0	23
学生	10,289	1,201	52	64	11,606
その他	0	1	13	12	26
合計	10,289	1,314	292	217	12,112

図書館ホール利用回数・人数

	Afternoon Memory Hour		Assembly Hour		学会・研修 ガイダンス等		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
前期	24	679	7	285	176	5,072	207	6,036
後期	11	217	10	235	64	3,242	85	3,694
合計	35	896	17	520	240	8,314	292	9,730

マイクロ資料印刷枚数

	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ
平成 8 年 4 月	793	189
5 月	698	0
6 月	1,347	0
7 月	1,958	0
8 月	1,114	6,768
9 月	3,166	7,488
10 月	2,369	4,587
11 月	616	5,308
12 月	2,198	5,136
平成 9 年 1 月	485	217
2 月	1,801	0
3 月	1,068	0
合計	17,613	29,693
前年	42,259	47,957

(4) 参考業務

月別参考業務件数

	文献 調査	事項 調査	利用 指導	ガイダンス	学外デ- ータ-ス	CD - ROM	合計	記事 速報
平成8年4月	207	21	31	47	63	78	449	173
5月	247	41	89	63	92	230	760	230
6月	343	23	68	43	161	218	856	150
7月	269	22	44	6	82	107	530	143
8月	59	5	11	0	21	18	114	60
9月	267	13	65	3	133	167	648	92
10月	316	2	103	1	139	245	806	118
11月	227	45	39	3	106	227	647	112
12月	217	36	70	1	107	169	600	129
平成9年1月	230	27	51	0	70	205	583	108
2月	100	0	0	0	46	36	182	103
3月	44	10	9	1	29	13	106	87
合計	2,526	245	580	168	1,049	1,713	6,281	1,505
前年	1,756	101	520	194	1,089	1,135	4,795	5,255

利用者別参考業務件数

	文献 調査	事項 調査	利用 指導	ガイダンス	学外デ- ータ-ス	CD - ROM 検索	合計
教員	466	64	9	2	199	13	753
職員	184	14	0	0	781	0	979
学生	1507	159	570	166	69	1700	4170
学外者	369	8	1	0	0	0	378
合計	2,526	245	580	168	1,049	1,713	6,281
前年	1,756	101	520	194	1,089	1,135	4,795

ライブラリー・ガイダンス実施状況

A．内容別

対象 / 内容	回数	受講者数	実施時期
新入生 / 図書館利用全般	81	2,172	4月 - 11月
演習・ゼミ受講生 / 文献の探し方	83	1,590	4月 - 11月
一般学生 / 目録・CD・ROM利用法	0	0	10月
大学院生 / 学外データベース紹介	1	1	4月
留学生 / 図書館利用全般	1	4	3月
新任教員 / 図書館利用全般	2	2	4月
職員 / 図書館利用全般	0	0	8月 - 9月
合計	168	3,769	
前年	194	4,093	

B．新入生学部別受講者数

	経済	経営	法	外国語	理	工	合計
受講者数	523	589	424	421	95	120	2,172
受講率	73%	73%	57%	81%	53%	90%	70%
前年	522	517	520	505	147	183	2,394

C．ゼミ学生受講者数

	経済	経営	法学	外国語	理	工	合計
1	19	107	0	114	0	0	240
2	160	91	167	19	0	0	437
3	184	346	198	129	0	0	857
4	20	5	0	26	5	0	56
合計	383	549	365	288	5	0	1,590
前年	461	416	490	264	49	0	1,680

D．ゼミ学生受講クラス数

学年	経済	経営	法	外国語	理	工	合計
1	1	5	0	3	0	0	9
2	6	4	8	2	0	0	20
3	8	17	14	10	0	0	49
4	1	0	0	3	1	0	5
合計	16	26	22	18	1	0	83
前年	19	20	21	15	3	0	78

(5) 相互利用

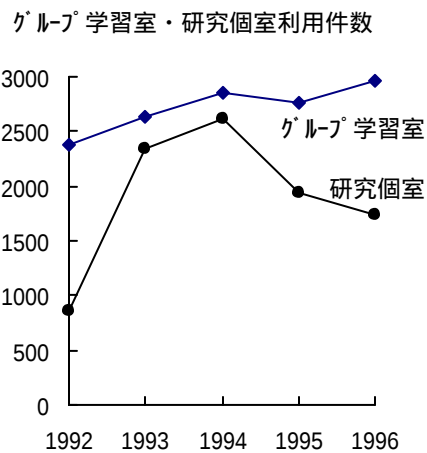
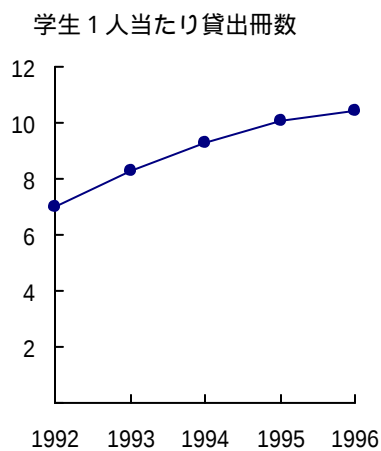
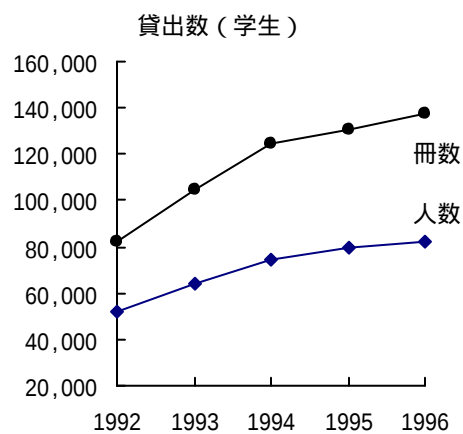
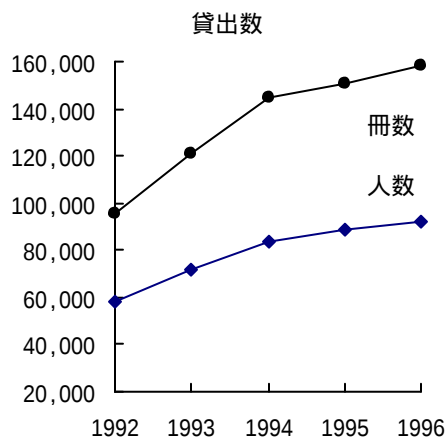
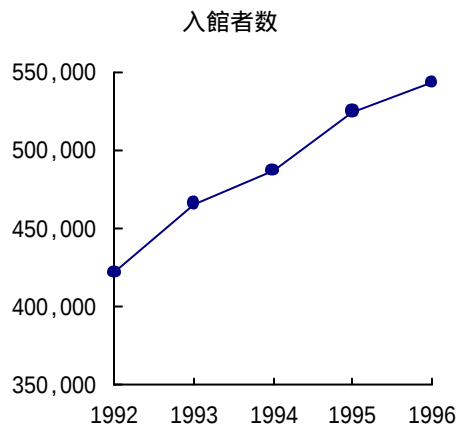
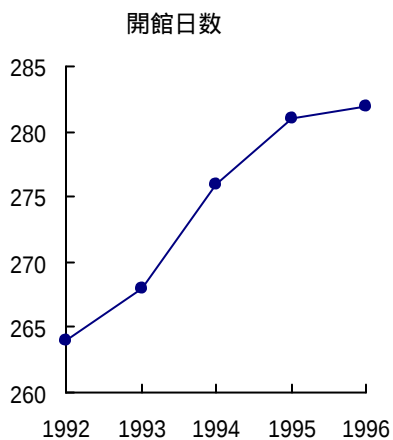
学外相互利用件数

	国内										国外			
	閲覧		貸借				文献複写				貸借		文献複写	
			大学図書館		その他		大学図書館		その他					
	受付	依頼	貸出	借受	貸出	借受	受付	依頼	受付	依頼	貸出	借受	受付	依頼
4月	1	12	28	14	2	11	193	130	22	8	0	0	0	7
5月	16	19	27	17	0	0	239	117	20	1	0	4	0	4
6月	9	8	13	35	0	4	165	120	12	19	0	7	0	4
7月	8	12	23	26	0	9	163	157	34	1	0	3	0	9
8月	8	5	9	7	0	0	78	69	14	6	0	1	0	4
9月	14	14	22	32	0	4	116	134	21	8	0	6	0	7
10月	21	15	39	40	3	9	215	207	29	10	0	8	0	4
11月	23	23	17	21	1	7	105	148	11	17	0	5	0	10
12月	13	17	8	12	4	8	109	112	26	2	0	1	0	10
1月	5	6	11	22	0	2	162	155	30	3	0	0	0	5
2月	10	13	9	21	1	0	107	68	8	9	0	3	0	12
3月	6	1	14	12	0	2	94	70	9	1	0	1	0	16
合計	134	145	220	259	11	56	1,746	1,487	236	85	0	39	0	92
前年	87	154	307	150	27	96	2,064	1,139	171	65	0	17	1	70

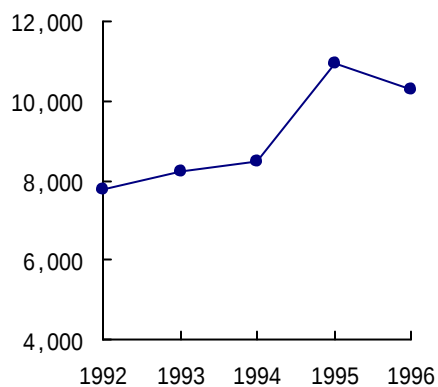
学内配達サービス

内訳	図書 (配達)		文献複写 (配達)	
	件数	冊数	件数	枚数
平成 8年 4月	22	215	6	44
5月	18	63	14	169
6月	40	140	2	45
7月	15	32	4	35
8月	3	6	0	0
9月	15	87	10	107
10月	22	86	4	45
11月	23	79	6	36
12月	24	70	4	54
平成 9年 1月	21	94	0	0
2月	19	63	8	55
3月	29	243	3	33
合計	251	1,178	61	623
前年	284	999	76	3,124

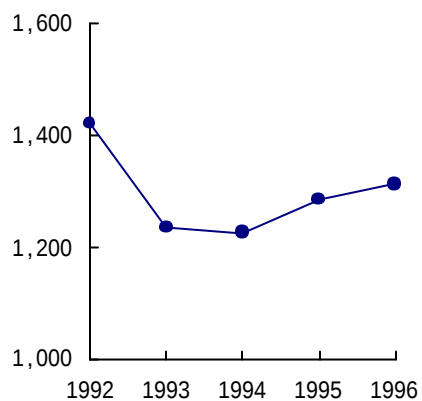
5. 図書館利用の推移



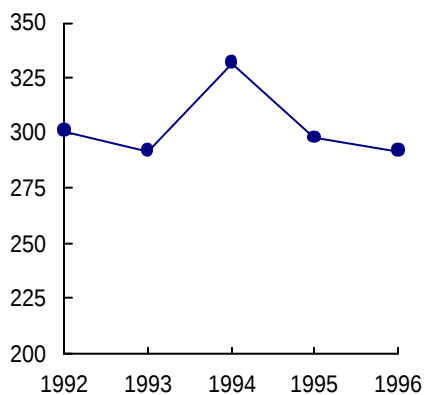
個人視聴覚室利用件数



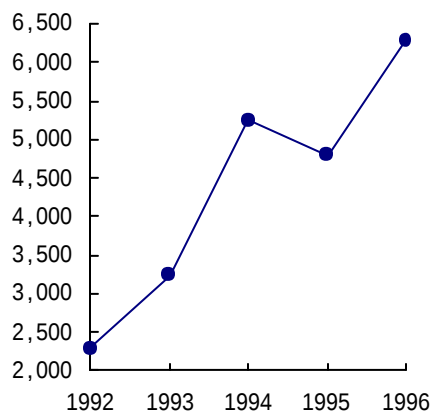
グループ視聴覚室利用件数



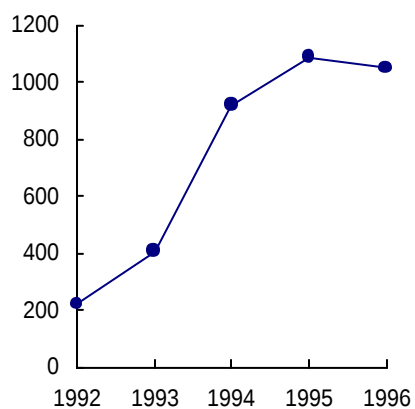
図書館ホール利用件数



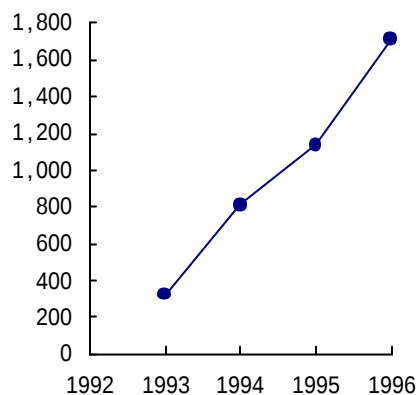
参考業務総数



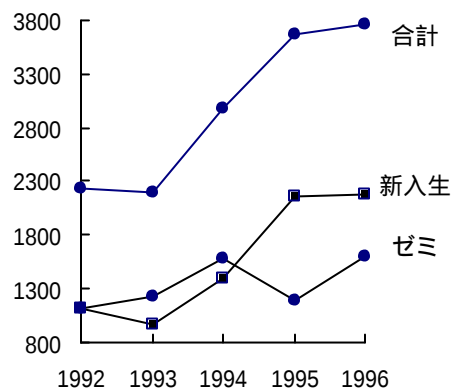
学外データベース検索件数



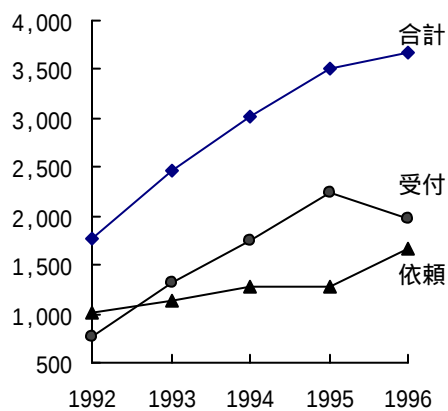
C D - R O M利用件数



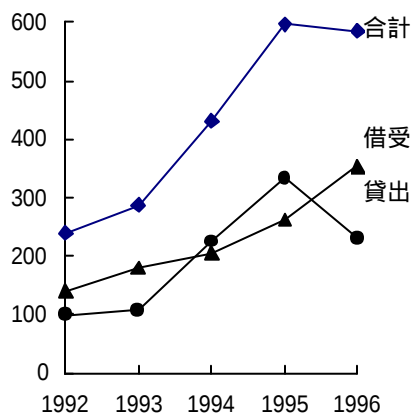
ライブラリーガイダンス受講者数



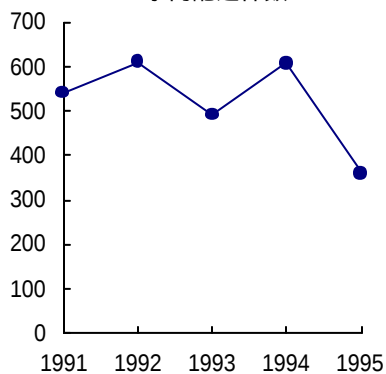
相互利用__ 文献複写件数



相互利用__ 図書貸借冊数



学内配達件数



京都産業大学図書館利用規程

制 定 昭和62年10月 1 日

最近改正 平成 9 年 5 月 1 日

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この規程は、京都産業大学図書館規程第 7 条第 2 項に基づき、図書館の利用について必要な事項を定め、その円滑な運用を図ることを目的とする。

(開館日)

第 2 条 図書館は、次の休館日を除いて開館する。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日
- (3) 本学創立記念日
- (4) 月末作業日
- (5) 夏期及び冬期休業の一定期間
- (6) 曝書及び資料の現物照合に必要な期間
- (7) その他図書館長(以下「館長」という。)が必要と認めた日

(開館時間)

第 3 条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 平日 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで
土曜日 午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- (2) 授業休業期間 午前 8 時 45 分から午後 4 時 30 分まで

2 館長が必要と認めたときは、前項の開館時間を変更することができる。

(利用者)

第 4 条 図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は、次のとおりとする。

- (1) 教職員
- (2) 学生
- (3) 非常勤講師及び嘱託職員
- (4) 本学の名誉教授
- (5) 本学の卒業生

(6) 「京都産業大学カード」保持者

(7) 図書館間相互利用協定等に基づく者及び館長の許可を受けた者

(利用カード)

第5条 前条に規定する利用者には、原則として利用カードを交付する。ただし、前条第1号及び第2号に規定する者の利用カードは、本学の身分証明書及び学生証をそれぞれこれにあてる。

2 利用カードは、入館及び利用上の諸手続に使用する。

(利用の範囲)

第6条 利用者は、閲覧、貸出及びその他の図書館サービスを受けることができる。

2 前項のサービス時間は、別表第1のとおりとする。

(図書館資料の区分)

第7条 図書館資料(以下「資料」という。)は、運用上、次の9種類に区分する。

(1) 普通図書

(2) 指定図書

(3) 参考図書

(4) 雑誌、新聞及びその他の逐次刊行物

(5) 貴重図書及び準貴重図書

(6) 特別コレクション(個人文庫を含む)

(7) 視聴覚資料(地図を含む)

(8) マイクロ資料

(9) その他の資料

第2章 閲覧

(閲覧)

第8条 利用者は、資料を閲覧することができる。

2 書庫の資料の閲覧を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(特別閲覧)

第9条 第7条第5号の資料の閲覧を希望する者は、館長の許可を受けなければならない。

2 前項の資料の閲覧は、特別閲覧室で行うものとする。

第3章 貸出

(貸出)

第10条 利用者は、資料の貸出を受けることができる。

- 2 利用者が貸出を受けることができる資料は、第7条第1号及び第2号の資料とする。
ただし、館長が必要と認めたときは、この限りではない。
- 3 資料の貸出を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(冊数及び期限)

第11条 貸出の冊数及び期限は、別表第2のとおりとする。

- 2 館長が必要と認めたときは、前項の冊数及び期限を変更することができる。

(貸出の停止)

第12条 貸出資料の期限内返却を怠った者に対しては、超過日数に相当する期間の貸出を停止する。

(返却義務)

第13条 次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに貸出資料を返却しなければならない。

- (1) 教職員が退職、休職又は6か月をこえる出張をするとき。
- (2) 学生が卒業、退学、除籍、休学又は留学するとき。
- (3) 前2号以外の利用者は、利用カードの有効期限が満了するとき。

第4章 複写

(複写)

第14条 利用者は、著作権関係法令の範囲内で、資料の複写サービスを受けることができる。

- 2 前項の複写を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(制限)

第15条 次の各号のいずれかに該当するときは、複写を許可しない。

- (1) 資料の損傷が著しいとき。
- (2) 資料の複写により損傷するおそれがあるとき。
- (3) 図書館の複写能力を超えるとき。
- (4) その他館長が必要と認めたとき。

(料金)

第 16 条 複写を希望する者は、所定の複写料金を納付しなければならない。

(著作権上の責任)

第 17 条 当該資料の複写に関して生じる著作権上の問題については、依頼者が一切その責任を負うものとする。

第 5 章 レファレンス・サービス

(レファレンス・サービス)

第 18 条 利用者は、レファレンス・サービスを受けることができる。

2 レファレンス・サービスを希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(範囲)

第 19 条 レファレンス・サービスの範囲は、原則として次のとおりとする。

- (1) 図書館の利用案内及び指導
- (2) 資料の所在調査
- (3) 特定の主題・事項に関する調査及び参考文献の紹介
- (4) 類縁機関の紹介

第 6 章 情報検索

(情報検索)

第 20 条 利用者は、情報検索サービスを受けることができる。

2 情報検索を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(端末機の操作)

第 21 条 端末機は、利用者との合意に基づいて、原則として係員が操作する。

2 前項による検索結果については、図書館は責任を負わないものとする。

(料金)

第 22 条 情報検索を希望する者は、回線使用料金及び検索料金等を納付しなければならない。

第7章 図書館間相互利用

(相互利用)

第23条 利用者は、他大学図書館等との協力による相互利用サービスを受けることができる。

2 他大学図書館等に対するサービスは、本学の利用者の研究及び教育に支障のない範囲で行う。

3 相互利用サービスを希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(利用協定)

第24条 相互利用サービスは、図書館が加盟する相互協力に関する協定等の定めるところにより、これを行う。

2 協定に加盟しない図書館等との相互利用サービスは、前項に準じて行う。

(範囲)

第25条 相互利用サービスの範囲は、次のとおりとする。

- (1) 資料の閲覧
- (2) 資料の複写
- (3) 資料の貸借
- (4) レファレンス・サービス

(料金)

第26条 相互利用サービスが有償のときは、その料金は、原則として利用者が負担するものとする。

第8章 図書館施設

(図書館施設)

第27条 図書館ホール等の諸施設の利用については、別に定める。

第9章 弁償

(弁償)

第28条 資料又は図書館の施設・設備等を亡失、汚損又は破損した者は、直ちに図書館に届け出るとともに、現物又は時価で弁償しなければならない。

附則

この規程は、昭和62年10月1日から施行する。

- 2 この規程の施行に伴い、京都産業大学図書館利用規程(昭和43年10月15日制定)は、廃止する。

附則

この規程は、平成元年7月1日から施行する。

附則

この規程は、平成2年9月17日から施行する。

附則

この規程は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成4年7月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成9年5月1日から施行する。

別表第 1 図書館のサービス時間

		授業期間	授業休業期間
閲覧	閲覧室の資料	平曜日 午前 8 時30分～午後 8 時 土曜日 午前 8 時30分～午後 4 時30分	午前 8 時45分～午後 4 時30分
	書庫の資料	平曜日 午前 8 時45分～午後 8 時30分	
	貸出	土曜日 午前 8 時45分～午後 4 時30分	
	複写		
	レファレンス・サービス 相互利用	平曜日 午前 8 時45分～午後 4 時30分 土曜日 午前 8 時45分～午前11時45分	

別表第 2 貸出冊数及び期限

	普通貸出	指定図書貸出	論文用貸出	長期貸出
学部学生 専攻科生 聴講生 外国人特別生 外国政府等派遣留学生 委託生	10冊 2週間	3冊 1週間	10冊 1か月 (別途手続きが必要)	
大学院生	10冊 2週間 (閲覧室の資料)			50冊6か月 (書庫の資料)
教員(客員教授含む) 客員研究員等				200冊 6か月 (書庫の資料)
名誉教授 職員 非常勤講師 研修員等				50冊6か月 (書庫の資料)
嘱託職員 本学の卒業生 京都産業大学カード保持者 館長の許可を受けたもの				
図書館間相互利用協定等に基づく者	図書館間相互利用協定等に基づく冊数及び期限			

図書館職員名簿

平成9年3月31日現在

館長 坂井 東洋男（外国語学部教授）

次長 村橋 元雄

図書管理課

課長	小寺 源吾
課長補佐 (洋書整理係長事務取)	赤瀬 美穂
課長補佐	木村 公平
庶務係長	大谷 健三
	池田 恵子
受入係長	西村 純一
	木下 妙子
	山本 顕子
雑誌係長	長田 伸寛
	桑名 美幸
和書整理係長	富崎 千賀子
	中上 ゆかり
	宮崎 美代子
	森井 真由美
(洋書整理係)	久保 理恵
	竹野 まさ彥

図書運用課

課長	大山 襄
課長補佐	石田 浩
閲覧係長	別所 博子
	井上 智英子
	小倉 都子
	近藤 正昭
	武田 渉
視聴覚係長	小脇 茂昭
	山内 奈津子

情報サービス課

課長	横山 桂
課長補佐 (情報処理係長事務取)	宝田 育久
(情報処理係)	天笠 洋一
参考係長	澤熊 智美
	近江 由紀子
相互利用係長	徳田 良明
	宮垣 なぎ
嘱託職員	中島 由美子